

2024年度を振り返って



2024年度 公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所
第57代理事長 紀 伊 智 裕

基本理念

自身を信じた運動が、まちを躍動させ持続発展するまちとなる。
自信のないことに挑戦することがやがて成長に繋がり、次代を担うリーダーとなる。
家族、仲間を想いやり、未来を創ろう。

スローガン

愛 ～無償の愛で人と地域に奉仕する～

【はじめに】

元旦から能登半島地震が発生し、復興支援としてメンバーの皆様には募金活動等の運動から始まり、ひとり一人が地域を愛する茅ヶ崎人として一年間様々な運動を共に展開し、メンバーの皆様をはじめ、行政関係諸団体の皆様、各地会員会議所同士の皆様、そして茅ヶ崎青年会議所シニアクラブ先輩諸氏の支えがあり、一年間を全うすることができました。この場をお借りさせて頂き、改めて御礼申し上げます。本年度は多岐にわたる活動を展開し、この一年間の運動は多くの事業を通じて一人ひとりがまちのリーダーへと成長する機会を提供し、JCの三信条である奉仕、修練、友情とあるように、この三信条を軸としてJCは成り立たなくてはならないと思っております。

2024年度は、スローガンを「愛～無償の愛で人と地域に奉仕する～」と掲げさせていただき、一年間という単年度の役職の中で自分たちのまちのために、お互いが切磋琢磨し合いながらまちづくりを展開しそのプロセスの中で友情が育まれていく、愛が無くしては三信条を軸には出来ず、全てに対しての愛があるからこそ成り立つ運動であり、メンバーの皆様にはまちづくり、仲間の大切さ、JCの魅力でもある成長するためのプロセスを体現してほしいという想いで運動を展開させて頂きました。それでは2024年度を振り返ってみたいと思います。

【各事業について】

1. 茅ヶ崎のカルチャーを活かした地域愛醸成事業（LOVE&PRIDE醸成委員会）

JCの醍醐味はまちづくり、そしてメンバーの事業が終わった後の達成感が凄まじいのもJCにおいては事業系と言われるほど、まちづくり事業は多くの成長や魅力が詰まっていると思っております。私自身も入会当初2019年はLOVE&PRIDE醸成委員会に配属され、JCの魅力、茅ヶ崎の魅力、JCの魅力を強烈に体感した一人でもあります。2024年度は地域の伝統や独自の文化そして、多くの人達にまちの魅力や茅ヶ崎の魅力を語れる茅ヶ崎愛を醸成することがテーマでした。6月には茅ヶ崎魅力祭を企画し、様々なお店、行政関係諸団体にご協力していただき多くの来場者に魅力を体感していただきました。また、10月にはホノルルとの姉妹都市締結10周年記念でもありと同時に「アロハシャツ」に市民の皆様から手形を採取し、市に

寄贈させて頂く事業を展開し500名の市民の皆様から参加していただきました。どちらの事業も当日は朝から晩まで準備企画し事業的にも大規模なもので、メンバーの皆様にもJCの醍醐味、達成感、まちづくりを通じて得られる大切なものを手に入れたのではないのでしょうか。これからも、私たちJC、行政、企業、市民が一体となってまちづくり運動を展開し続けることが、まちが持続可能に発展し、私たちJCはより一層必要とされる団体と成ることと確信しました。

2. 個性が輝き理念共感した拡大交流事業（拡大交流委員会）

2024年度は拡大目標を30人と掲げさせていただきました。新入会員を入れるだけではなく少しでもJCは楽しい興味がある。少しでも顔出してみようとする行動を起こす機会だけではなく、会議所の理念や魅力が会員に浸透する仕組みをつくり、LOM全体を巻き込んだ交流の機会を構築していくことがテーマでした、会員拡大は組織の存続や運営のために行うわけではありませんが、実際には30名の拡大は達成出来ませんでしたが、2024年度はメンバー間の交流に力をいれたこともあり、今まで来なかったメンバーがJCの魅力や理念に触れて出席するメンバーや新しく理事に就任するメンバーも増え、確かな可能性を感じました。また、LOMが一枚岩になり拡大、交流を積極的に展開していただけたので、高い位置で2025年度体制に引き継げたと確信しております。

3. ブランディング繋がる広報活動（総務広報委員会）

2024年度は一人でも多くの市民に魅力ある団体であると感じていただき、信頼を高められるような組織としての広報活動展開していくことがテーマでした。しかしJCにおいてはこのブランディングという観点からみても興味関心を持たない人へ情報を届けることはとても困難でした。また、情報を届けたい人々の特定のグループや興味関心を絞り込み、ターゲティング、コンテンツの質の向上など、多くの手法を取り入れましたが、情報過多となった今時には斬新さや泥臭い広報も必要だと感じました。しかし、これからも青年会議所らしくどの様にしたら多くの人に必要な情報が届くのかを議論して頂きながら、より良いブランディングを目指してほしいと思います。

4. 湘南4LOMまちづくり事業（LOVE&PRIDE醸成委員会）

2024年度は、寒川青年会議所が湘南4LOMまちづくり会議の幹事LOMを務める年でもありました。ここではLOVE&PRIDE醸成委員会に活躍いただく機会を得ました。拡大を主体的に行う仲間を作ることという目標として、5月には理念共感プロモーターの資格をお持ちの講師による理念共感並びに拡大を目的とした講演事業を開催しました。従来通り5月には湘南4LOMまちづくり会議として湘南のまちづくり事業をしなくていいのかと私としては思う所ではありましたが、それほどまでに他の3LOMもメンバー減少に悩ませているという課題があがりこのような機会を得ました。そして10月の合同懇談会では、2024年度の成果をしっかりと2025年度に引き継ぐことができました。

5. 各種大会への参画、LOM、姉妹LOMとの交流事業（拡大交流委員会）

2024年度は、引率の担当委員会でもある拡大交流委員会が活躍する機会にも恵まれ、2024年度は姉妹LOMでもある津青年会議所との交流の機会が多く1月の新年式典や京都会議また、7月のサマーコンファレンス、12月の津青年会議所事業報告会、そして、出向に関しても多くの協力と交流の機会に恵まれました。また、ブロック大会、関東地区大会、全国大会と各種大会に多くのメンバーで参画し、LOMのスケールだけではなく神奈川ブロック、関東地区、日本、国際のスケールとして初めて参加したメンバーにLOMだけで体感出来なかったJCのスケールと出向先のメンバーが担当する大会で活躍する背中を実際に見て欲しいという私の想いもあり、大会の魅力や出向の魅力を伝えられたのではないかと感じております。

6. コンプライアンスと主体的に時代に合わせた組織運営（総務広報委員会）

2024年度は組織体制も3委員会とし組織体制を縮小させていただきました。その狙いとしては、組織のメンバー数が減少しているのに従来と変わらぬ組織体制では機能不全に陥ることを懸念し、組織規模と比例するように委員会数を設けることで各委員会のメンバー数を多く配属できました。予算面も2024年度は事業予算も縮小し、少ない予算の中でどれだけLOMを運営しまちづくりができるかを念頭に置いていました。結論どんなに予算を使っても各委員会や組織体制が機能不全になってしまったら元も子もないので、まずは、2024年度は組織の初心に戻りどれだけ各委員会が盛り上がり、交流の機会を作れるかが裏テーマでした。また、2023年度から引き継がしていただいた賛助会員収入もあり財政基盤のそのまま継続ができたと考えています。

【最後に】

この一年間全ての事業並びに活動に携わっていただいた皆様には、心より感謝申し上げます。皆様と共に過ごしたこの一年間の運動は多くの事業を通じて一人ひとりがまちのリーダーへと成長する機会となりました。

JCは仲良しクラブではありません。しかしながら、JCの三信条である奉仕、修練、友情とあるように友情は必ず必要だと思っております。一年間という単年度の役職の中でお互いが切磋琢磨し合いながら友情を育んでいくことだと思ってます。JCはよく失敗していい団体と言われてますが、その意味はただ何もせず追求や検証もせず失敗していい訳ではなくて、自信のない事に立ち向かっていき成功に向けてもがき苦しみながら最後までやったのに失敗してしまいました、それがポジティブな失敗例です。だからこそ、そこに成長の機会があるのではないかと思います。その様なJCの魅力的な成長の過程は今年度多くのメンバーに体感して頂きたいと思い、本年度は基本理念2段落目の中に、「自信のないことに挑戦することがやがて成長に繋がり、次代を担うリーダーとなる。」と掲げさせて頂きました。今年度悔いが残ったメンバーの方々も仮にいるとするならば、JCをより使い倒し挑戦してみてください。私自信もJCライフの中では失敗と挑戦の連続でしたし、メンバーの皆様の支えがあったからこそ、今年度は理事長職を全う出来たと思えます。

最後になりますが、2024年度の茅ヶ崎JCに対し、多大なるご支援、ご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。2025年度はメンバー一丸となって邁進し運動を展開し地域を先導することを確信しております。そして青年会議所は地域に選ばれる持続可能な組織であり、メンバー一人ひとりが地域のため、自分以外の仲間のために行動すれば、茅ヶ崎JCは、そして茅ヶ崎のまちはさらにより良いまちになると信じています。その確かな自信をもって、今後とも邁進していくことをお誓い申し上げ、2024年度の事業報告に代えさせていただきます。1年間、本当にありがとうございました。

2024年度理事長行動記録

月 日	行 事	場 所	備 考
1月5日	小田原JC賀詞交歓会	湯元富士屋ホテル	紀伊理事長、羽場専務
7日	茅ヶ崎市消防出初式	茅ヶ崎市役所	紀伊理事長、羽場専務
8日	新年式典リハーサル	茅ヶ崎文化会館	LOMメンバー
10日	茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会	茅ヶ崎市役所分庁舎	紀伊理事長、羽場専務
	新旧理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
11日	横浜JC賀詞交歓会	横浜ロイヤルパークホテル	紀伊理事長、羽場専務
12日	茅ヶ崎青年会議所 新年式典	茅ヶ崎文化会館	LOMメンバー
13日	三浦JC賀詞交歓会	うらり三浦ホール	紀伊理事長、羽場専務
14日	あしがらJC賀詞交歓会	松田町生涯学習センター	紀伊理事長、羽場専務
16日	相模原JC賀詞交歓会	相模原市民会館	紀伊理事長、羽場専務
17日	横須賀JC賀詞交歓会	メルキュールホテル横須賀	紀伊理事長、羽場専務
19日	日本青年会議所 第1回理事会	京都国際会館	紀伊理事長
	第1回関東地区協議会会員会議所	京都国際会館	紀伊理事長
20日	日本青年会議所 第175回総会	京都国際会館	紀伊理事長
20日	全国大会主管契約締結式	京都国際会館	紀伊理事長
21日	日本青年会議所 新年式典	京都国際会館	紀伊理事長
24日	茅ヶ崎市市長表敬訪問	茅ヶ崎市役所	正副メンバー
	海老名JC賀詞交歓会	ザ・ウィングス海老名	紀伊理事長、田中理事
25日	平塚JC賀詞交歓会	サンライフガーデン	紀伊理事長、羽場専務
26日	商工会議所会頭表敬訪問	商工会議所	正副メンバー
27日	募金活動	茅ヶ崎文化会館	LOM有志メンバー
30日	神奈川ブロック協議会CHARM調印式	相模原市民会館	紀伊理事長、羽場専務
	神奈川ブロック協議会第1回会員会議所会議	相模原市民会館	紀伊理事長、羽場専務
	神奈川ブロック協議会第1回全体会議	相模原市民会館	紀伊理事長、羽場専務
2月1日	第2回正副理事長会議	住宅流通センター	正副メンバー
7日	湘南ナバサ	FM湘南ナバサスタジオ	紀伊理事長
10日	日本青年会議所 規則審査会議第2回全体会議お出迎え	茅ヶ崎市民ギャラリー	LOMメンバー
	関東地区フォーラム	狛江市エコルマホール	紀伊理事長、羽場専務
15日	第2回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
17日	日本青年会議所 第2回理事会	ZOOM	紀伊理事長
19日	第1回サザンビーチフェスタ実行委員会	茅ヶ崎勤労市民会館	紀伊理事長、羽場専務、LOVE&PRIDE醸成委員会
20日	第1回湘南4LOM役員会議	寒川商工会議所	湘南4LOM役員メンバー
22日	茅ヶ崎青年会議所 2月例会	ルアンホール	LOMメンバー
27日	神奈川ブロック協議会第2回会員会議所会議	うらり三浦ホール	紀伊理事長、羽場専務
29日	第1回臨時理事会	ZOOM	理事会構成メンバー
	第3回正副理事長会議	住宅流通センター	正副メンバー
3月5日	第2回湘南4LOM役員会議	ひらつか市民活動センター	湘南4LOM役員メンバー
7日	第1回臨時正副理事長会議	ZOOM	正副メンバー
8日	日本青年会議所 第3回理事会	ZOOM	紀伊理事長
13日	鎌倉JC60周年記念式典	鎌倉プリンスホテル	紀伊理事長、羽場専務
14日	第3回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
15日	拡大懇談会	oggi	LOMメンバー
23日	日本青年会議所 第176回総会・経済フォーラム	新宿セントラルパーク	紀伊理事長、羽場専務
27日	神奈川ブロック協議会第3回会員会議所会議	うらり三浦ホール	紀伊理事長、羽場専務
29日	茅ヶ崎青年会議所 3月例会	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	LOMメンバー
31日	第1回かながわカレッジスクール	カルッツかわさき	LOMメンバー
	第1回神奈川ブロック拡大交流会	カルッツかわさき	LOMメンバー
4月2日	第4回正副理事長会議	建設会館 応接室	正副メンバー
9日	第3回湘南4LOM役員会議	藤沢商工会館	湘南4LOM役員メンバー
11日	第4回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー

2024年度理事長行動記録

月 日	行 事	場 所	備 考
4月13日	第1回次年度選挙管理委員会	茅ヶ崎勤労市民会館	次年度選挙管理委員会
18日	大岡越前祭奴隊決起会	灯	奴隊メンバー
19日	拡大懇談会	WARUNG	LOMメンバー
20日	日本青年会議所 第4回理事会	ZOOM	紀伊理事長
	綾瀬JC45周年記念事業	東山公園	紀伊理事長、羽場専務
21日	大岡越前祭	茅ヶ崎市内	奴隊メンバー
22日	第1回臨時湘南4LOM役員会議	ZOOM	湘南4LOM役員メンバー
24日	茅ヶ崎商工会議所青年部総会	茅ヶ崎商工会議所	紀伊理事長、羽場専務
25日	第5回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
30日	神奈川ブロック協議会第4回会員会議所会議	川崎市産業振興会館	紀伊理事長、羽場専務
5月9日	第5回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
12日	茅ヶ崎グリーンライオンズクラブ50周年記念式典	湯本富士屋ホテル	紀伊理事長、羽場専務
	アロハマーケット	茅ヶ崎公園野球場	LOMメンバー
14日	日本青年会議所 総務グループ会議	茅ヶ崎ラスカ	LOMメンバー
15日	第2回次年度選挙管理委員会	茅ヶ崎勤労市民会館	次年度選挙管理委員会
18日	日本青年会議所 第5回理事会	ZOOM	紀伊理事長
19日	5月例会	梅沢海岸	LOMメンバー
	平塚JC65周年記念式典	ホテルサンライフガーデン	紀伊理事長、羽場専務
21日	第2回臨時理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
23日	第6回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
25日	神奈川ブロック協議会第5回会員会議所会議	山北町立生涯学習センター	紀伊理事長、羽場専務
26日	湘南祭	サザンビーチ	LOMメンバー
27日	次年度理事長立候補日	茅ヶ崎勤労市民会館	次年度選挙管理委員会
28日	湘南4LOM合同事業	寒川神社参集殿	LOMメンバー
6月1日	JCカップ神奈川県予選	ATSUGI CANCHA	紀伊理事長、羽場専務
	横浜開港祭	臨港パーク	紀伊理事長、羽場専務
8日	次年度選挙管理委員会	寅寅	次年度選挙管理委員会
12日	会頭公式訪問	HKラウンジ	紀伊理事長、木村直前、羽場専務
13日	第6回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
15日	6月例会	第一カッターきいろ公園	LOMメンバー
17日	次年度理事長公聴会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
19日	拡大交流委員会 公開委員会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
22日	日本青年会議所 第6回理事会	ZOOM	紀伊理事長
25日	拡大懇談会	KAIMUKI GRILL	LOMメンバー
27日	第7回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
28日	中間監査報告会	JCルーム	正副メンバー、監事
29日	神奈川ブロック協議会第6回会員会議所会議	ホテルサンライフガーデン	紀伊理事長、羽場専務
7月2日	ちか道清掃	サザンビーチちか道	LOMメンバー
6日	関東地区会員会議所	とちぎ岩下の新生姜ホール	紀伊理事長、羽場専務
	関東地区大会	とちぎ岩下の新生姜ホール	LOMメンバー
9日	第3回臨時理事会	茅ヶ崎コミュニティセンター	理事会構成メンバー
	7月例会	茅ヶ崎コミュニティセンター	LOMメンバー
11日	第7回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
15日	浜降祭ビーチクリーン	サザンビーチ	LOMメンバー
18日	サマーコンファレンス横浜市長レセプション	横浜モノリス	紀伊理事長、羽場専務
19日	日本青年会議所 第7回理事会	パシフィコ横浜	紀伊理事長、羽場専務
	サマーコンファレンス 結団式	パシフィコ横浜	紀伊理事長、羽場専務
20日	サマーコンファレンス	パシフィコ横浜	LOMメンバー
21日	サマーコンファレンス 解団式	パシフィコ横浜	紀伊理事長、羽場専務
24日	第7回会員会議所会議	伊勢原市中央公民館	紀伊理事長、羽場専務

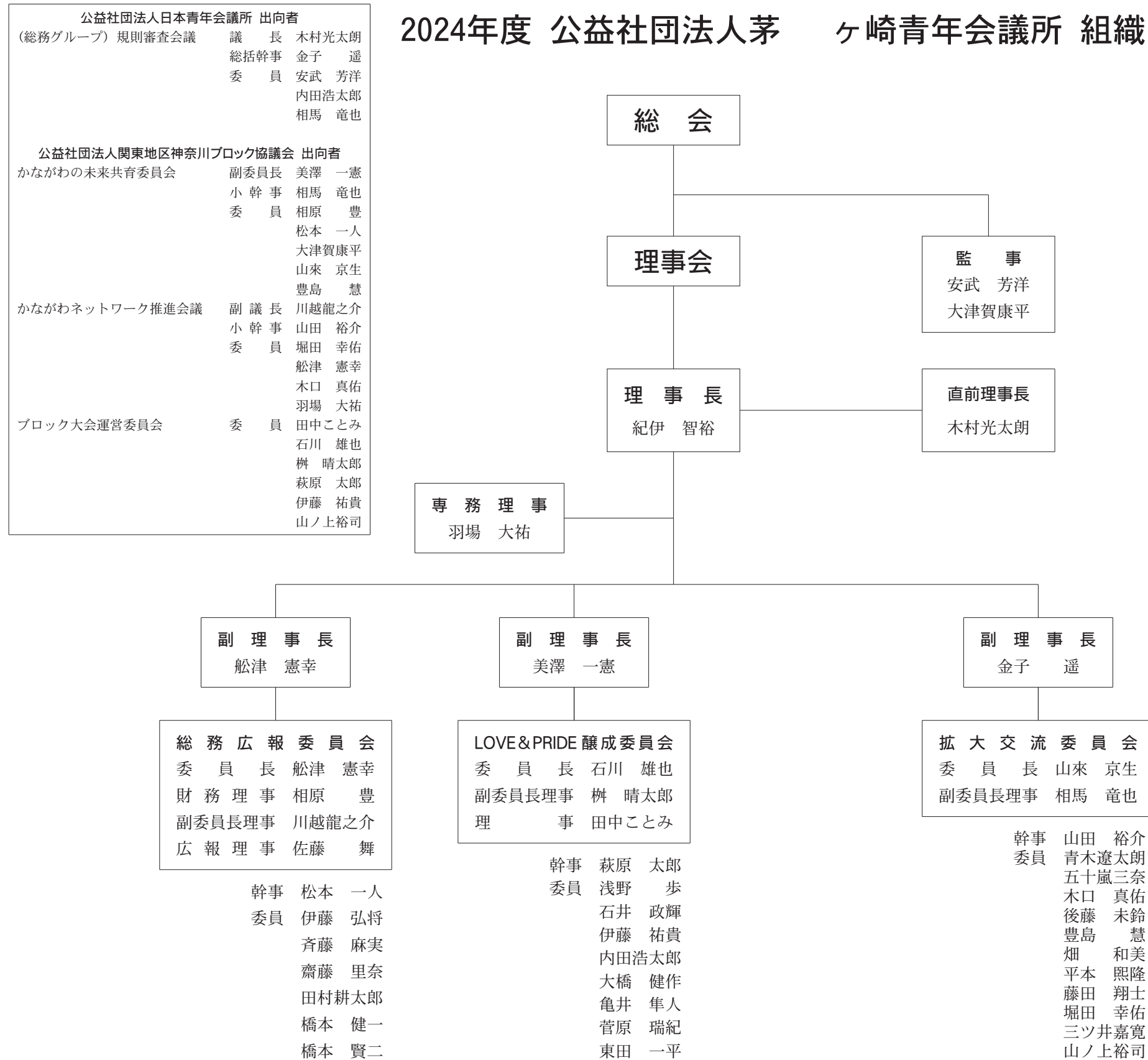
2024年度理事長行動記録

月 日	行 事	場 所	備 考
7月25日	第8回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
26日	今年年度理事長専務亀井会頭挨拶訪問	亀井工業ホールディングス(株)	今年年度理事長専務
27日	サザンビーチフェスタ	サザンビーチ	LOMメンバー
29日	寒川JC交流事業	ラスカ茅ヶ崎	LOMメンバー
8月5日	かながわハイスchool会議	神奈川県庁	紀伊理事長、羽場専務
	かながわ総合学習AWARD	波止場会館	紀伊理事長、羽場専務
6日	小田原会議	料亭門松	今年年度理事長専務
8日	第8回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
9日	拡大懇談会	SITA	LOMメンバー
15日	相模薪能	寒川神社	紀伊理事長、羽場専務
16日	神奈川県ケーブルテレビ協議会との懇話会	横浜ロイヤルパークホテル	紀伊理事長、羽場専務
23日	神奈川県ブロックNOROSHI交流会	海の家クイックシルバー	LOMメンバー
24日	8月例会	長瀬周辺	LOMメンバー
27日	第9回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
31日	シニアクラブ交流会	柳島キッチン	LOMメンバー
9月5日	9月例会	茅ヶ崎商工会議所	LOMメンバー
6日	第52回神奈川ブロック大会鎌倉大会 成功祈願祭	鶴岡八幡宮	紀伊理事長、羽場専務
	神奈川ブロック協議会 第8回会員会議所	鎌倉青少年会館	紀伊理事長、羽場専務
	本今年度名刺交換会	Rans kamakura	今年年度理事長専務
7日	第52回神奈川ブロック大会鎌倉大会	鎌倉芸術館、建長寺	LOMメンバー
10日	第3回湘南4LOM役員会議	寒川商工会議所	湘南4LOM役員メンバー
12日	第9回理事会	茅ヶ崎建設会館	理事会構成メンバー
14日	日本青年会議所 第8回理事会	ZOOM	紀伊理事長
18日	湘南祭実行委員会打ち上げ	茅ヶ崎ビール	LOMメンバー
20日	第146回じゃがいも記念大会 山口杯	レイクウッドゴルフクラブ	LOMメンバー
23日	第10回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
24日	新入会員研修	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
25日	茅ヶ崎観光協会第3回理事会	茅ヶ崎商工会議所	紀伊理事長
26日	茅ヶ崎商工会議所定例総会	茅ヶ崎商工会議所	紀伊理事長
10月1日	第1回湘南4LOM臨時役員会議	寒川商工会議所	湘南4LOM役員メンバー
4日	日本青年会議所 第9回理事会	福岡国際会議場	紀伊理事長
	全国大会福岡大会 開会式	福岡国際会議場	紀伊理事長
	日本青年会議所 総会	福岡国際会議場	紀伊理事長
5日	全国大会福岡大会 大会式典	マリンメッセ福岡	LOMメンバー
	全国大会福岡大会 卒業式	マリンメッセ福岡	LOMメンバー
6日	全国大会福岡大会 閉会式並びに解団式	福岡国際会議場	紀伊理事長、船津副理事長、羽場専務
10日	第10回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
12日	第2回かながわカレッジスクール	湯本富士屋ホテル	LOMメンバー
15日	第17回神奈川ブロック役員会議茅ヶ崎開催お出迎え	ラスカ茅ヶ崎	LOMメンバー
19日	かながわハイスchool会議	神奈川県庁	紀伊理事長、金子副理事長、羽場専務
	市民討議会	茅ヶ崎市役所	LOMメンバー
21日	度神奈川ブロック協議会じゃがいも大会	厚木国際カントリー倶楽部	LOMメンバー
23日	第11回正副理事長会議	住宅情報センター	正副メンバー
24日	公益社団法人厚木青年会議所55周年式典	レンブラントホテル厚木	紀伊理事長、船津副理事長、羽場専務
26日	ホノルルミーツ	第一カッターきいろ公園	LOMメンバー
	第9回会員会議所会議	座間市消防本部座間市消防署	紀伊理事長、羽場専務
27日	10月例会	しろやま公園	LOMメンバー
31日	JCI世界会議桃園大会	台湾	LOMメンバー
11月1日	世界会議 台湾桃園大会	台湾	LOMメンバー
2日	世界会議 台湾桃園大会	台湾	LOMメンバー

2024年度理事長行動記録

[illegible]

2024年度 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図



行政・関係諸団体 出向先			
青色申告宣言都市推進協議会	常任理事	紀伊 智裕	(理事長)
茅ヶ崎警察署協議会	委員	金子 遥	(副理事長)
社会福祉法人 翔の会	評議員	木村光太郎	(直前理事長)
湘南祭実行委員会		美澤 一憲	(副理事長)
		石川 雄也	(LOVE&PRIDE醸成委員長)
		榊 晴太郎	(LOVE&PRIDE醸成副委員長)
		田中ことし	(LOVE&PRIDE醸成副委員長)
アロハ実行委員会		船津 憲幸	(副理事長)
大岡越前祭実行委員会		山来 京生	(拡大交流委員長)
湘南海岸をきれいにする会		安武 芳洋	(監 事)
ちがさき自転車プラン推進連絡協議会	委員	船津 憲幸	(総務委員長)
レディオ湘南番組審議委員会	委員	安武 芳洋	(監 事)
茅ヶ崎中海岸侵食対策協議会	委員	金子 遥	(副理事長)
茅ヶ崎市市民活動推進委員会	委員	羽場 大祐	(専務理事)
湘南国際マラソン実行委員会		大津賀康平	(監 事)
サザンビーチフェスタ実行委員会		美澤 一憲	(副理事長)
		石川 雄也	(LOVE&PRIDE醸成委員長)
		榊 晴太郎	(LOVE&PRIDE醸成副委員長)
		田中ことし	(LOVE&PRIDE醸成副委員長)
茅ヶ崎こころの劇場実行委員会		大津賀康平	(監 事)
		羽場 大祐	(専務理事)
市民評議会実行委員会		船津 憲幸	(副理事長)
		羽場 大祐	(専務理事)
ちがさき学童保育の会	理事	安武 芳洋	(監 事)
茅ヶ崎市特別職員報酬等審議会	委員	紀伊 智裕	(理事長)
ホノルル市・郡姉妹都市交流委員会	委員	大津賀康平	(監 事)
	委員	美澤 一憲	(副理事長)
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会	理事	紀伊 智裕	(理事長)
茅ヶ崎商工会議所			
情報発信委員会	委員	羽場 大祐	(専務理事)
ウォーカブル委員会	委員	安武 芳洋	(監 事)
組織力強化委員会	委員	金子 遥	(副理事長)
茅ヶ崎ビジョン委員会	音楽事業担当委員	船津 憲幸	(副理事長)
例会委員会	委員	大津賀康平	(監 事)
湘南スタジアム向上委員会	委員	美澤 一憲	(副理事長)

2024年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名	認証番号	氏名
707	伊藤 祐貴	708	木口 真佑	709	豊島 慧
710	石井 政輝	711	平本 熙隆	712	深澤 友哉
713	後藤 未鈴	714	畑 和美	715	齋藤 里奈
716	藤田 翔士				

2024年度 卒業会員

美澤 一憲	木村 光太郎	田中 ことみ
紀伊 智裕	大津賀 康平	菅原 瑞紀
橋本 健一	東田 一平	山ノ上 裕司
豊島 慧		

2024年度 褒賞

理事長賞	羽場 大祐	船津 憲幸
新人賞	伊藤 祐貴	
飛躍賞	川越 龍之介	
委員会特別賞	LOVE&PRIDE醸成委員会	
委員会賞	拡大交流委員会	

2024年度 例会100%出席者

木村 光太郎	紀伊 智裕	船津 憲幸
麻生 光	山來 京生	
紀伊 智裕	美澤 一憲	船津 憲幸
金子 遥	羽場 大祐	橋本 賢二
石川 雄也	田中 ことみ	

理事会報告

2024年度 第1回次年度理事会 2023年09月22日 19:30~22:00 市民ギャラリー会議室A・B

＜審議事項＞	
1. 2024年度委員会配属計画（案）承認の件について	専務理事
＜協議事項＞	
1. 2024年度年間スケジュール計画（案）について	専務理事
2. 2024年度予算計画（案）について	財務理事
＜報告事項＞	
1. 理事会運営要綱について	専務理事
2. 歴代理事長懇談会について	専務理事
3. 各会場予約方法について	専務理事
4. LOM発送スケジュールについて	専務理事
5. 2024年度理事・監事卓上プレート作成について	総務広報委員会
6. 名刺作成について	総務広報委員会
7. JCルーム使用について	総務広報委員会

2024年度 第2回次年度理事会 2023年10月05日 19:30~22:00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

＜審議事項＞	
1. 理事長所信・スローガン・基本理念・事業計画（案）承認の件	理事長
＜協議事項＞	
1. 2024年度年間スケジュール（案）について	専務理事
2. 2024年度予算計画（案）について	財務理事
3. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）について	各委員会
総務広報委員会	
LOVE&PRIDE醸成委員会	
拡大交流委員会	

2024年度 第3回次年度理事会 2023年11月02日 19:30~22:00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

＜審議事項＞	
1. 2024年度予算計画（案）承認の件	財務理事
＜協議事項＞	
1. 2024年度年間スケジュール計画（案）について	専務理事
2. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）について	各委員会
総務広報委員会	
LOVE&PRIDE醸成委員会	
拡大交流委員会	
3. 1月例会事業計画並びに予算（案）について	総務広報委員会
4. 年間広報計画並びに予算（案）について	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 歴代理事長懇談会について	専務理事

2024年度 第4回次年度理事会 2023年11月28日 19：30～22：00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

<審議事項>

1. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）について
- 総務広報委員会
- LOVE&PRIDE醸成委員会
- 拡大交流委員会

<協議事項>

1. 2024年度年間スケジュール（案）について
- 専務理事
2. 1月例会事業計画並びに予算（案）について
- 総務広報委員会
3. 年間広報計画並びに予算（案）について
- 総務広報委員会
4. 新年会事業計画（案）について
- 拡大交流委員会
5. 2月例会事業計画並びに予算（案）について
- 拡大交流委員会

<報告事項>

1. 湘南4LOM合同懇談会について
- 専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所2024年度会頭所信（案）について
- 専務理事
3. 公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 2024年度会長所信（案）について
- 専務理事
4. 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会2024年度スローガン(案)・基本理念(案)・基本方針(案)について
- 専務理事
5. 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会2024年度出向について
- 専務理事
6. JCマークガイドライン改定について
- 専務理事
7. 年賀状発送について
- 総務広報委員会
8. 公開委員会開催について
- 拡大交流委員会

2024年度 第5回次年度理事会 2023年12月21日 19：30～22：00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

<審議事項>

1. 1月例会事業計画並びに予算（案）承認の件
- 総務広報委員会
2. 年間広報計画並びに予算（案）承認の件
- 総務広報委員会

<協議事項>

1. 2024年度年間スケジュール計画（案）について
- 専務理事
2. 2月例会事業計画並びに予算（案）について
- 拡大交流委員会
3. 3月例会事業計画（案）について
- 総務広報委員会

<報告事項>

1. 行政各種団体出向について
- 専務理事
2. 県内各地会員会議所2024年度賀詞交歓会日程について
- 専務理事
3. 新年会開催について
- 拡大交流委員会
4. 2024年度京都会議について
- 拡大交流委員会

2024年度 第1回理事会 2024年01月10日 19：30～22：00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

<審議事項>

1. 2024年度年間スケジュール計画（案）承認の件
- 専務理事
2. 理事長（代理理事）選定（案）承認の件
- 総務広報委員会
3. 業務執行理事選定（案）承認の件
- 総務広報委員会

4. 次年度理事会各種審議議案追認（案）承認の件
- 総務広報委員会
5. 会員小野 櫻朱 君退会（案）承認の件
- 総務広報委員会
6. 会員武井 恭介 君退会（案）承認の件
- 総務広報委員会
7. 会員米山 竜玄 君退会（案）承認の件
- 総務広報委員会
8. 会員齋藤 孝祐 君退会（案）承認の件
- 総務広報委員会
9. 新入会員伊藤 祐貴（いとう ゆうき）君認証（案）承認の件
- 総務広報委員会
10. 新入会員木口 真佑（きぐち みゆ）君認証（案）承認の件
- 総務広報委員会
11. 新入会員豊島 慧（とよしま けい）君認証（案）承認の件
- 総務広報委員会
12. 2月例会事業計画並びに予算（案）承認の件
- 拡大交流委員会
13. 湘南4LOM付託案件（案）承認の件
- LOVE&PRIDE醸成委員会

<協議事項>

1. 3月例会事業計画（案）について
- 総務広報委員会
2. 4月例会事業計画（案）について
- LOVE&PRIDE醸成委員会

<報告事項>

1. 行政各種団体出向について
- 専務理事
2. 県内各地会員会議所2024年度賀詞交歓会日程について
- 専務理事
3. 公益社団法人日本青年会議所 第1回理事候補者会議について
- 専務理事
4. 公益社団法人日本青年会議所 第2回理事候補者会議について
- 専務理事
5. 公益社団法人日本青年会議所 第3回理事候補者会議について
- 専務理事
6. 公益社団法人日本青年会議所 第4回理事候補者会議について
- 専務理事
7. 公益社団法人日本青年会議所 第5回理事候補者会議について
- 専務理事
8. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第1回会員会議所候補者会議について
- 専務理事

9. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第2回会員会議所候補者会議について
- 専務理事

10. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第3回会員会議所候補者会議について
- 専務理事

11. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第4回会員会議所候補者会議について
- 専務理事

12. 神奈川ブロック協議会第1回全体会議について
- 専務理事
13. 京都会議 神奈川ブロックナイトについて
- 専務理事
14. 京都会議 関東地区ナイト出向者説明会・交流会について
- 専務理事
15. 2024年度正会員年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について
- 財務理事
16. 神奈川県への2024年度事業計画書等の提出について
- 財務理事
17. 2024年度京都会議について
- 拡大交流委員会

2024年度 第2回理事会 2024年02月15日 19：30～22：00 茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室

<審議事項>

1. 正会員年会費分納（案）承認の件
- 財務理事
2. 新入会員 石井 政輝（いしい まさき）君認証（案）承認の件
- 総務広報委員会

<協議事項>

1. 3月例会事業計画（案）について
- 総務広報委員会

2. 4月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会
3. 5月例会事業計画並びに予算（案）について	拡大交流委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第1回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第1回会員会議所会議について	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 第52回神奈川ブロック大会鎌倉大会 開催趣旨・大会スローガン・ロゴマークについて	専務理事
5. 令和6年能登半島地震被災支援募金について	専務理事
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
7. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度1月度広報活動報告について	総務広報委員会
8. 会員拡大状況について	拡大交流委員会
9. 新入会員研修について	拡大交流委員会
10. 拡大懇談会開催について	拡大交流委員会

2024年度 第1回臨時理事会 2024年02月29日 19：30～20：30	Web会議
＜審議事項＞	
1. 4月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会

2024年度 第3回理事会 2024年03月14日 19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞	
1. 4月例会日程スケジュール変更（案）承認の件	専務理事
2. 2024年度補正予算（案）承認の件	財務理事
3. 1月例会事業報告並びに決算（案）承認の件	総務広報委員会
4. 3月例会事業計画（案）承認の件	総務広報委員会
＜協議事項＞	
1. 4月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会
2. 5月例会事業計画並びに予算（案）について	拡大交流委員会
3. 6月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第2回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第2回会員会議所会議について	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 2024年度正会員年会費及び2023年度特別会員会費納入状況について	財務理事
5. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
7. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2024年度2月度広報活動報告について	総務広報委員会
8. サザンビーチフェスタ2024開催について	LOVE&PRIDE醸成委員会
9. 拡大状況について	拡大交流委員会
10. 拡大懇談会開催について	拡大交流委員会

11. 大岡越前祭開催について	拡大交流委員会
12. 新年会開催報告について	拡大交流委員会
13. 京都会議開催報告について	拡大交流委員会

2024年度 第4回理事会 2024年04月11日 19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞	
1. 次年度理事長選挙管理委員会設立（案）承認の件	理事長
2. 4月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	LOVE&PRIDE醸成委員会
3. 5月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	拡大交流委員会
＜協議事項＞	
1. 6月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会
2. 7月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第3回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第3回会員会議所会議について	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 2024年度正会員年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事
5. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
7. 新規賛助会員入会申込について	総務広報委員会
8. 2024年度アロハマーケット参画について	総務広報委員会
9. 2024 JCI ASPACアンコール大会について	総務広報委員会
10. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度3月度広報活動報告について	総務広報委員会
11. 未来手想図事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会
12. サザンビーチフェスタ開催について	LOVE&PRIDE醸成委員会
13. 拡大状況について	拡大交流委員会
14. 第69回大岡越前祭開催について	拡大交流委員会

2024年度 第5回理事会 2024年05月09日 19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞	
1. 新入会員平本 ひりゅん（ひらもと ひりゅん）君認証（案）承認の件	総務広報委員会
2. 新入会員深澤 友哉（ふかさわ ともや）君認証（案）承認の件	総務広報委員会
3. 拡大交流委員会基本方針・事業計画・補正予算（案）承認の件	拡大交流委員会
4. 2月例会事業計画並びに補正予算（案）承認の件	拡大交流委員会
5. 2月例会事業報告並びに決算（案）承認の件	拡大交流委員会
6. 3月例会事業報告（案）承認の件	総務広報委員会
7. 6月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	LOVE&PRIDE醸成委員会
＜協議事項＞	
1. 7月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第4回理事会について	専務理事

2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第4回会員会議所会議について	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 中間監査実施について	監事
5. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事
6. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
7. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
8. 2024年度アロハマーケット参画について	総務広報委員会
9. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2024年度4月広報活動報告について	総務広報委員会
10. 湘南4LOM合同事業について	LOVE&PRIDE醸成委員会
11. 湘南祭2024について	LOVE&PRIDE醸成委員会
12. 拡大状況について	拡大交流委員会
13. 拡大懇談会開催について	拡大交流委員会
14. 新入会員研修について	拡大交流委員会

2024年度 第2回臨時理事会	2024年05月21日	19：30～20：30	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞			
1. 7月例会日程スケジュール変更（案）承認の件	専務理事		
2. 6月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	LOVE&PRIDE醸成委員会		
＜報告事項＞			
1. 新入会員研修について	拡大交流委員会		

2024年度 第6回理事会	2024年06月13日	19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞			
1. 次年度理事長選任（案）承認の件	理事長		
2. 7月例会日程スケジュール変更（案）承認の件	専務理事		
3. 新入会員後藤 未鈴（ごとう みすず）君認証（案）承認の件	総務広報委員会		
4. 7月例会事業計画（案）承認の件	総務広報委員会		
＜協議事項＞			
1. 8月例会事業計画並びに予算（案）について	拡大交流委員会		
2. 9月例会事業計画（案）について	総務広報委員会		
＜報告事項＞			
1. 公益社団法人日本青年会議所 第5回理事会について	専務理事		
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第5回会員会議所会議について	専務理事		
3. 理事長活動記録について	専務理事		
4. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事		
5. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事		
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会		
7. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度5月度広報活動報告について	総務広報委員会		
8. 浜降祭清掃協力依頼について	総務広報委員会		
9. サザンビーチフェスタ2024開催について	LOVE&PRIDE醸成委員会		

10. ちか道清掃について	LOVE&PRIDE醸成委員会
11. 会員拡大状況について	拡大交流委員会
12. 第72回関東地区大会 栃木大会開催について	拡大交流委員会

2024年度 第3回臨時理事会	2024年07月09日	19：30～20：30	茅ヶ崎地区コミュニティセンター
＜審議事項＞			
1. 新入会員畑 和美（はた かずみ）君認証（案）承認の件	総務広報委員会		

2024年度 第7回理事会	2024年07月11日	19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞			
1. 5月例会事業報告並びに予算（案）承認の件	拡大交流委員会		
＜協議事項＞			
1. 8月例会事業計画並びに予算（案）について	拡大交流委員会		
2. 9月例会事業計画（案）について	総務広報委員会		
3. 10月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会		
＜報告事項＞			

1. 公益社団法人日本青年会議所 第6回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 第6回会員会議所会議について	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 寒川J C交流事業について	専務理事
5. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事
6. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
7. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
8. 2024年度市民協議会実行委員会について	総務広報委員会
9. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度6月度広報活動報告について	総務広報委員会
10. サザンビーチフェスタ2024開催について	LOVE&PRIDE醸成委員会
11. 拡大状況について	拡大交流委員会
12. サマーコンファレンス2024開催及び公益社団法人津青年会議所との合同交流会について	拡大交流委員会
13. 拡大懇談会開催について	拡大交流委員会

2024年度 第8回理事会	2024年08月08日	19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞			
1. 8月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	拡大交流委員会		
2. 9月例会事業計画（案）承認の件	総務広報委員会		
＜協議事項＞			
3. 11月例会事業計画（案）について	総務広報委員会		
＜報告事項＞			
1. 公益社団法人日本青年会議所 第7回理事会について	専務理事		
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第7回会員会議所会議について	専務理事		

3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事
5. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6. 次年度理事選考委員選出について	総務広報委員会
7. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
8. 2024年度市民討議会実行委員会について	総務広報委員会
9. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度7月度広報活動報告について	総務広報委員会
10. 2024年度シニアクラブ交流会について	総務広報委員会
11. 拡大状況について	拡大交流委員会
12. 第52回神奈川ブロック大会鎌倉大会「STARTING New Values」開催について	拡大交流委員会
13. 新入会員研修について	拡大交流委員会

2024年度 第4回臨時理事会 2024年08月19日 18：00～19：30	Web会議
＜審議事項＞	
1. 2025年度理事選任（案）承認の件	次年度理事選考委員会
2. 2025年度副理事長・委員長・財務理事指名（案）承認の件	次年度理事選考委員会
3. 2025年度監事選任（案）承認の件	次年度理事選考委員会
＜協議事項＞	
1. LOVE&PRIDE醸成委員会基本方針・事業計画・修正予算（案）についてLOVE&PRIDE醸成委員会	
2. 10月例会事業計画並びに予算（案）について	LOVE&PRIDE醸成委員会

2024年度 第9回理事会 2024年09月12日 19：30～22：00	茅ヶ崎建設協同組合ビル2階会議室
＜審議事項＞	
1. 7月例会事業報告（案）承認の件	総務広報委員会
2. LOVE&PRIDE醸成委員会基本方針・事業計画・修正予算（案）承認の件LOVE&PRIDE醸成委員会	
3. 10月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	LOVE&PRIDE醸成委員会
＜協議事項＞	
1. 11月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
2. 12月例会第一部事業計画（案）について	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第8回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第8回会員会議所会議について	
	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 2024年度正会員年会費及び2023年度特別会員会費納入状況について	財務理事
5. 2024年賛助会員納入状況について	財務理事
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
7. 2024年市民討議会実行委員会について	総務広報委員会
8. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2024年8月度広報活動報告について	総務広報委員会
9. 会員拡大状況について	拡大交流委員会
10. 第72回関東地区大会 栃木大会参画について	拡大交流委員会

11. サマーコンファレンス2024開催及び公益社団法人津青年会議所との合同交流会開催について	拡大交流委員会
12. 第73回全国大会福岡大会開催について	拡大交流委員会

2024年度 第10回理事会 2024年10月10日 19：30～21：45	茅ヶ崎市勤労市民会館 C,D会議室
＜審議事項＞	
1. 歴代理事長懇談会日程スケジュール変更（案）承認の件	専務理事
2. 11月例会事業計画（案）承認の件	総務広報委員会
＜協議事項＞	
1. 12月例会第一部事業計画（案）について	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第9回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第9回会員会議所会議について	
	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について	財務理事
5. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
7. 2024年度市民討議会実行委員会について	総務広報委員会
8. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2024年度9月度広報活動報告について	総務広報委員会
9. 会員拡大状況について	拡大交流委員会

2024年度 第11回理事会 2024年11月07日 19：30～22：00	茅ヶ崎市勤労市民会館 C,D会議室
＜審議事項＞	
1. 新入会員齋藤 里奈（さいとう りな） 君認証（案）承認の件	総務広報委員会
2. 新入会員藤田 翔士（ふじた しょうじ） 君認証（案）承認の件	総務広報委員会
3. 9月例会事業報告（案）承認の件	総務広報委員会
4. 12月例会第一部事業計画（案）承認の件	総務広報委員会
＜報告事項＞	
1. 公益社団法人日本青年会議所 第10回理事会について	専務理事
2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第10回会員会議所会議について	
	専務理事
3. 理事長活動記録について	専務理事
4. 神奈川ブロック協議会第2回全体会議について	専務理事
5. ありがとう関東地区について	専務理事
6. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入状況について	財務理事
7. 2024年度賛助会員費納入状況について	財務理事
8. 2024年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
9. 歴代理事長懇談会について	総務広報委員会
10. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2024年度10月度広報活動報告について	総務広報委員会
11. 会員拡大状況について	拡大交流委員会
12. 第52回ブロック大会鎌倉大会開催報告について	拡大交流委員会

2024年度 第12回理事会 2024年12月17日 19：30～22：00 茅ヶ崎市勤労市民会館 A研修室

<審議事項>

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 2024年度褒賞受賞者決定（案）承認の件 | 理事長 |
| 2. 最終監査日程スケジュール変更（案）承認の件 | 専務理事 |
| 3. 年間広報計画事業報告並びに決算（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 4. 6月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | LOVE&PRIDE醸成委員会 |
| 5. 8月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | 拡大交流委員会 |
| 6. 10月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | LOVE&PRIDE醸成委員会 |

<報告事項>

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 第11回理事会について | 専務理事 |
| 2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第10回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3. 理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4. 業務執行理事（副理事長、専務理事）報告について | 専務理事 |
| 5. 最終監査実施について | 監事 |
| 6. 2024年度正会員年会費年会費及び2023年度特別会員会費納入案内について | 財務理事 |
| 7. 2024年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 8. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度11月度広報活動報告について | 総務広報委員会 |
| 9. 市民討議会実施報告について | 総務広報委員会 |
| 10. 湘南4LOMまちづくり会議について | LOVE&PRIDE醸成委員会 |
| 11. 湘南祭2024開催報告について | LOVE&PRIDE醸成委員会 |
| 12. 会員拡大状況について | 拡大交流委員会 |

2024年度 第13回理事会 2025年01月06日 19：30～21：00 茅ヶ崎石油事務所

<審議事項>

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 2024年度収支決算（案）承認の件 | 財務理事 |
| 2. 8月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | 拡大交流委員会 |
| 3. 11月例会事業報告（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 4. 12月例会第一部事業報告（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 5. 12月例会第二部事業報告（案）承認の件 | 拡大交流委員会 |

<報告事項>

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 第11回理事会について | 専務理事 |
| 2. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会第10回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3. 理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4. 歴代理事長懇談会開催報告 | 専務理事 |
| 5. 2024年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 6. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2024年度12月度広報活動報告について | 総務広報委員会 |
| 7. サザンビーチフェスタ2024開催について | LOVE&PRIDE醸成委員会 |
| 8. 未来手想図2024除幕式開催について | LOVE&PRIDE醸成委員会 |
| 9. 第73回全国大会福岡大会開催報告について | 拡大交流委員会 |

例 会 記 録

月日	内容	担当委員会	出席率
1／12	1 月例会 「新年式典」	総務広報委員会	72.0％
2／22	2 月例会 「理念が人を動かす！」	拡大交流委員会	58.0％
3／29	3 月例会 「定時総会＆メンバー交流ナイト」	総務広報委員会	58.0％
4／6	4 月例会 中止	LOVE&PRIDE醸成	0.0％
5／19	5 月例会 「大感謝祭」	拡大交流委員会	57.0％
6／15	6 月例会 「～茅ヶ崎魅力祭～」	LOVE&PRIDE醸成	71.0％
7／9	7 月例会 「次年度理事長候補者所信表明」	総務広報委員会	58.0％
8／24	8 月例会 「涼を求めて～長瀬ツアー～」	拡大交流委員会	42.0％
9／5	9 月例会 「出向者報告並びに次年度理事・監事報告会」	拡大交流委員会	58.0％
10／27	10月例会 「Big Aloha shirt ～アロハ・エ・コモ・マイ～」	LOVE&PRIDE醸成	56.0％
11／14	11月例会 「第1部 定時総会 第2部 事業報告会」	総務広報委員会	42.0％
12／10	12月例会 「第一部：～希望の灯をつなぐ～」 「第二部：紡ぎ」	総務広報委員会 拡大交流委員会	67.0％ 67.0％

2024年度例会出席表

	回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	例会開催数	出席回数	出席率
	日付	1月12日	2月22日	3月29日	4月6日	5月19日	6月15日	7月9日	8月24日	9月5日	10月27日	11月14日	12月10日	12月10日			
	担当委員会	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	LOVE & PRIDE 醸成	拡大 交流	LOVE & PRIDE 醸成	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	総務 広報	拡大 交流			
	名称	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会 中止	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会 第一部	12月 例会 第二部			
正副・監事	紀伊 智裕	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	木村光太郎	○	A	○		○	A	○	×	A	○	○	○	○	12	11	91.7%
	美澤 一憲	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	船津 憲幸	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	金子 遥	○	○	○		○	A	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	安武 芳洋	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	○	12	10	83.3%
	大津賀 康平	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	○	○	12	9	75.0%
	羽場 大祐	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	計	8	8	8	0	8	8	7	5	7	8	0	8	8			
	率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	87.0%	71.0%	87.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%			
総務広報 委員会	相原 豊	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	12	12	100.0%
	川越龍之介	○	○	○		○	○	○	×	○	×	○	○	○	12	10	83.3%
	佐藤 舞	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	12	12	100.0%
	松本 一人	○	○	○		×	○	○	×	○	○	○	○	○	12	10	83.3%
	伊藤 弘将	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%
	斉藤 麻実	○	×	○		×	×	×	×	○	×	○	×	×	12	4	33.3%
	田村耕太郎	×	×	×		×	×	○	×	×	×	×	×	×	12	1	8.3%
	橋本 健一	×	×	×		×	○	×	×	×	×	×	×	×	12	1	8.3%
	橋本 賢二	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	深澤 友哉					認証	×	×	×	×	×	×	×	×	9	1	11.1%
	齋藤 里奈											認証	○	○	3	3	100.0%
	計	6	5	6	0	5	6	6	3	6	3	6	5	5			
	率	66.0%	55.0%	66.0%	0.0%	40.0%	60.0%	60.0%	30.0%	60.0%	30.0%	54.5%	45.4%	45.4%			
LOVE&PRIDE 醸成委員会	石川 雄也	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	榊 晴太郎	○	×	×		×	○	○	×	○	○	○	○	○	12	8	66.7%
	田中ことみ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
	萩原 太郎	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%
	浅野 歩	○	×	×		×	○	×	×	×	○	○	○	○	12	6	50.0%
	石井 政輝		認証	○		×	○	○	×	○	○	○	○	○	11	9	81.8%
	伊藤 祐貴	認証	○	○		○	A	○	○	○	○	×	○	○	11	11	100.0%
	内田浩太郎	×	○	×		○	○	○	×	×	×	×	×	×	12	4	33.3%
	大橋 健作	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%
	亀井 隼人	×	×	○		×	○	×	×	×	×	×	×	×	12	2	16.6%
	菅原 瑞紀	○	×	○		×	○	○	×	×	○	×	○	○	12	7	58.3%
	東田 一平	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%
	計	7	6	7	0	4	10	8	4	6	8	6	8	8			
	率	63.0%	50.0%	58.0%	0.0%	33.0%	83.3%	66.6%	33.0%	50.0%	66.0%	50.0%	66.6%	66.6%			

	回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	例会開催数	出席回数	出席率
	日付	1月12日	2月22日	3月29日	4月6日	5月19日	6月15日	7月9日	8月24日	9月5日	10月27日	11月14日	12月10日	12月10日			
	担当委員会	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	LOVE & PRIDE 醸成	拡大 交流	LOVE & PRIDE 醸成	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	拡大 交流	総務 広報	総務 広報	拡大 交流			
	名称	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会 中止	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会 第一部	12月 例会 第二部			
拡大交流 委員会	山來 京生	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%
	相馬 竜也	○	×	×		○	○	×	○	○	○	○	○	○	12	9	75.0%
	山田 裕介	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%
	青木遼太郎	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%
	五十嵐三奈	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×	○	○	12	3	25.0%
	木口 真佑	認証	○	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	12	3	25.0%
	後藤 未鈴						認証	○	×	○	×	○	○	○	8	6	75.0%
	豊島 慧	認証	×	○		○	○	×	○	×	○	○	○	○	12	9	75.0%
	平本 熙隆					認証	×	×	×	×	×	×	×	×	9	1	11.1%
	畑 和美							認証	×	○	×	×	○	○	7	4	57.1%
	堀田 幸佑	○	○	×		○	A	×	×	○	○	○	○	○	12	9	75.0%
	三ツ井嘉寛	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%
	山ノ上裕司	×	○	×		○	×	×	○	×	×	×	○	○	12	5	41.7%
	藤田 翔士											認証	×	×	3	1	33.3%
	計	7	4	2	0	7	6	4	6	6	5	7	9	9			
	率	66.0%	50.0%	25.0%	0.0%	54.0%	50.0%	30.0%	46.0%	46.0%	38.4%	50.0%	64.2%	64.2%			
出席率																	
会員数		39	40	40	40	42	42	43	43	43	43	45	45	45			

2024年度委員会出席表

総務広報委員会																		実施回数	出席回数	出席率
役 職	名 前	次年度01回	次年度02回	次年度03回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回				
		10/25	中止	12/27	1/17	2/20	3/19	中止	5/16	6/20	7/18	8/22	9/19	10/17	11/8	12/21				
委員長	船津 憲幸	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		13	13	100%
財務理事	相原 豊	○		○	×	○	○		×	○	○	○	×	○	×	○		13	9	69%
副委員長理事	川越龍之介	○		A	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		13	13	100%
広報理事	佐藤 舞	○		○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×		13	11	85%
幹 事	松本 一人	○		×	×	○	○		○	○	○	×	○	○	×	×		13	8	62%
委 員	伊藤 弘将	×		×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×		13	0	0%
委 員	斉藤 麻実	○		○	○	○	○		×	×	×	×	×	○	○	×		13	7	54%
委 員	田村耕太郎	×		×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×		13	0	0%
委 員	橋本 健一	×		×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×		13	0	0%
委 員	橋本 賢二	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		13	13	100%
委 員	深澤 友哉									○	○	×	×	×	×	×		7	2	29%
合計人数		10	0	10	10	10	10	0	10	11	11	11	11	11	11	11		合計	137	
出席者人数		7	0	6	4	7	7	0	5	7	7	5	5	7	5	4			76	
出席率		70%		60%	40%	70%	70%		50%	64%	64%	45%	45%	64%	45%	36%			55%	

副 理 事 長 報 告

副理事長 美 澤 一 憲

2024年度、副理事長として活動した1年間は、自身が学びを得るというよりも、これまでの自分自身のJCライフから得たものをメンバーに伝えようと意識した1年となりました。紀伊理事長が掲げたスローガンの名のもとに地域に愛をそしてメンバーにも愛をもって叱咤激励を飛ばしてまいりました。担当させて頂いたLOVE&PRIDE醸成委員会の石川委員長をはじめとするメンバーの皆様は理事長が考えるスローガンの意図をくみ取り数多くの事業構築をしていただいたこと、とても感謝しています。出来ない理由を語るのではなく、できる方法を考えたメンバーたちにとっては確実に成長した1年になったと確信しています。副理事長としてLOMに対して残せたことは少ないけれど1年間楽しく過ごすことが出来、JCライフを満喫することが出来ました。

これからの茅ヶ崎青年会議所が益々発展し、運動を加速させることを期待して副理事長報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

副理事長 金 子 遥

本年は、紀伊理事長の掲げる『愛』～無償愛で人と地域に奉仕する～のスローガンのもと、副理事長として拡大交流委員会の担当をさせていただきました。私自身のJCライフの中で会員拡大については、委員会としての経験が無かったことから新鮮な気持ちで参画することができました。委員会として役割は、『会員拡大』・『会員研修』・『会員交流』・『各種事業への引率』など多岐にわたる役割をいただきました。理事長の思いを実現させ、委員長に成功イメージを抱かせ各種事業を成功に導く役割としては、非常に難しい舵取りとなりました。しかし、委員長の前向きさと委員会メンバーのポテンシャルの高さから多くの事業を成功に導けたのではないかと感じております。その理由として会員の出席率の増、メンバー同士の交流の増など様々な観点から感じる事ができております。一方で、会員拡大においては委員会として拡大目標を30名と掲げ、例会や事業を行い経験豊富な先輩をお招きし多くの成功事例を学びながらSNS等のICTを駆使するとともに、市内企業を一社ずつ訪問するなど靴底を減らし地道な努力を重ねておりましたが成功に導くことはできませんでした。今回及ばなかった箇所を検証し引き継いでまいりたいと思います。

また、本年は私の中でも大きな分岐点となる1年となりました。これまでの間様々な学びの機会をいただき自分自身も家族や会社の仲間から『変わったね!』と前向きな言葉をたくさんいただくようになり自他ともに成長を実感することができました。このいただいたご恩に全力で応えるためにも2025年度理事長に挑戦することを決意しました。本年新たな挑戦を決意できたことを関わっていただいたすべての皆様に感謝をするとともに、機会の提供をしていただいた紀伊理事長に心から御礼申し上げます。

1年間ありがとうございました。

副理事長 船 津 憲 幸

2024年度、副理事長として活動した1年間は、これまでのJC活動の中でも特に多くの学びと責任を感じる年となりました。組織運営の根幹を支える役割を担い、メンバーとともに数々の事業を進めていく中で、茅ヶ崎青年会議所の存在意義と、地域に果たすべき役割の大きさを改めて実感しました。

LOVE&PRIDE醸成委員会																		実施回数	出席回数	出席率
役 職	名 前	次年度01回	次年度02回	次年度03回	次年度04回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回			
		11/3	11/29	12/12	12/22	1/16	2/7	3/4	4/10	5/1	5/22	6/10	8/3	9/2	10/22	11/12	12/21			
委員長	石川 雄也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	16	100%
副委員長理事	榊 晴太郎	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	16	14	88%
理 事	田中ことみ	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	16	10	63%
幹 事	萩原 太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	16	14	88%
委 員	浅野 歩	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	16	6	38%
委 員	内田浩太郎	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	16	5	31%
委 員	大橋 健作	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	0	0%
委 員	亀井 隼人	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	16	6	38%
委 員	菅原 瑞紀	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	16	7	44%
委 員	東田 一平	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	0	0%
委 員	伊藤 祐貴					×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	12	7	58%
委 員	石井 政輝							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	10	100%
合計人数		10	10	10	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	合計	182	
出席者人数		5	6	5	6	7	5	3	7	7	3	6	6	7	6	5	4		88	
出席率		50%	60%	50%	60%	64%	45%	25%	58%	58%	25%	50%	50%	58%	50%	42%	33%		48%	

拡大交流委員会																		実施回数	出席回数	出席率
役 職	名 前	次年度01回	次年度02回	次年度03回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回				
		10/19	11/1	11/21	1/30	2/16	3/3	4/16	5/13	6/26	7/10	8/3	9/17	10/14	11/7	12/14				
委員長	山來 京生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		15	15	100%
副委員長理事	相馬 竜也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		15	15	100%
幹 事	山田 裕介	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		15	13	87%
委 員	青木遼太郎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		15	0	0%
委 員	五十嵐三奈	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×		15	5	33%
委 員	木口 真佑					×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		11	1	9%
委 員	後藤 未鈴									○	○	○	○	○	○	○		7	7	100%
委 員	豊島 慧					○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○		11	6	100%
委 員	畑 和美										○	○	○	○	○	○		6	6	100%
委 員	平本 熙隆									○	×	×	×	×	×	×		7	1	7%
委 員	堀田 幸佑	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		15	11	73%
委 員	三ツ井嘉寛	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		15	0	0%
委 員	山ノ上裕司	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○		15	7	47%
合計人数		8	8	8	8	10	10	10	10	12	13	13	13	13	13	13		合計	162	
出席者人数		5	4	6	4	5	5	5	4	7	7	6	6	7	8	8			87	
出席率		63%	50%	75%	50%	50%	50%	50%	40%	58%	54%	46%	46%	54%	62%	62%			54%	

総務広報委員会

委員長 船津 憲幸
財務理事 相原 豊
副委員長理事 川越 龍之介

スローガン
「Buddies」

事業内容・事業報告

1. 全体事業への参画（通年）
年間を通して、LOM事業全般、各種大会・地域事業などへの参画を行いました。
2. HPの立ち上げ・更新・広報活動（通年）
テーマ：茅ヶ崎JCの活動に対する地域の関心を高め、協力関係の強化や入会希望者の増加を促すとともに、メンバー自身が広報の重要性と活動意義を認識し、主体的に発信することで組織の事業推進力を強化する。

内 容：広報活動を通じて、組織運営の難しさ、コミュニケーションの重要性、地域社会との関わり方を改めて実感し、多くの学びを得ることができました。

広報活動では、投稿内容の正確性を保つために事業の下調べを徹底し、当事者に記事を作成してもらう工夫を行いました。また、新入会員紹介や活動報告など、多様なコンテンツを取り入れることで、より魅力的な広報ができたのではないかと思います。さらに、地域イベントへの参加やSNSを活用した情報発信を強化し、市民への認知度向上に努めました。特に、LOVE&PRIDE醸成委員会の事業では、広報が成功の鍵を握る要素であったため、委員会メンバーと連携を深めながら集客につながる広報ができたことは大きな成果でした。

しかしながら、広報活動を通じて課題も見えてきました。特に、デジタル化の遅れは大きな課題の一つです。SNSやウェブサイトは、現代における情報発信の主流であり、より多くの市民に情報を届けるためには、これらのツールをより効果的に活用する必要があると感じました。また、メンバー間の情報共有が十分ではなく、広報活動が個々のメンバーの積極的な関与によって支えられるべきという認識も強まりました。広報は一部の人だけが行うものではなく、メンバー全員が主体的に取り組むことが重要であり、そのためにはより密なコミュニケーションが不可欠です。

この1年間を振り返ると、広報を通じて組織の一員として、そして地域社会の一員としての責任を改めて実感しました。今後も、この経験を活かし、茅ヶ崎青年会議所の発展、そして地域の活性化に貢献していきたいと思います。

3. 1月例会（新年式典）（1月12日）
テーマ：2024年度の新たなスローガンと理事長所信をはじめとする活動方針を関係諸団体及び行政に向けて発信を行い、LOMの運動方針への理解と協力体制の構築につなげる。

内 容：2024年度最初の例会として、新年式典を開催しました。本年度で2度目の開催となるため、式典の進行はスムーズに行えました。また、理事長の所信表明は多くの参加者に感動を与えたものと思います。さらに、新入会員3名の認証式を多くの方々の前で執り行えたことは、大変喜ばしいことであり、他のLOMにも良い刺激を与える機会となりました。一方で、2023年度とあまり変わらない設えであったため、1回限りの式典として、演出や内容面でもう少しチャレ

本年度のスローガン「愛 ～無償の愛で人と地域に奉仕する～」のもと、理事長を中心に掲げた理念を形にし、多くの事業を通じて地域やメンバーに貢献できたことは、大きな誇りです。このスローガンの言葉通り、JC活動における「無償の愛」とは、見返りを求めずに人や地域のために尽くすこと。その想いが、1年間の活動の中で一人ひとりの行動に表れていたと感じています。何より、この1年を全力で駆け抜けることができたのは、2024年度理事長・紀伊智裕君の確固たるビジョンとリーダーシップがあったからこそです。常にメンバーのことを考え、組織の未来を見据えながら決断を下してきた紀伊理事長の姿は、私自身にとっても多くの学びとなりました。その想いを受け、少しでも力になれるよう副理事長として尽力してきたつもりです。また、共に活動を支え合ったメンバーの皆さんには心から感謝しています。それぞれの立場で懸命に取り組み、時には悩みながらも前を向き、地域のため、組織のために努力する姿勢に何度も励まされました。どんなに忙しくても、どんなに困難があっても、仲間とともに進むことができたからこそ、最後までやり遂げることができました。この1年間を通じて、私は「組織を支えることの意味」と「仲間と共に挑戦し続ける大切さ」を深く学びました。そして、JC活動が単なる事業の実施ではなく、人を育て、地域を豊かにするための運動であることを改めて実感しました。

副理事長としての1年を終え、次のステージへと進むことになりましたが、この経験はこれからの人生においても大きな財産となるでしょう。そして、2025年度以降も、茅ヶ崎青年会議所がさらに発展し、地域の未来を創る存在であり続けることを心から願っています。

最後に、2024年度理事長・紀伊智裕君、そして支えてくれたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。皆さんとともに活動できたことに、心から感謝しています。「無償の愛」その想いが、これからも人と地域をつなぐ力となることを信じて。

監事報告

監事 安武 芳洋
監事 大津賀 康平

我々は監事という立場で少し客観的にLOMやメンバーのことを見させていただき、様々なことを感じるとともに、時には意見もさせて頂きました。そんな中で、細かいことも色々ありますが、まず一番にお伝えしたいのは組織運営についてです。コロナ禍の影響もあり、年々と在籍メンバー数が減少しているにも関わらず、行おうとしている組織運営はメンバーが100名ほどいた時とほぼ変わらずに続けております。財政面にしてもメンバー一人ひとりの役割のバランスにしても、だいぶ無理が生じてきているのではないかと心から感じてしまいました。正副をはじめとするJC経験のあるメンバーからすると、今までこの組織で得られた機会を、あとのメンバーにも同じように提供してあげたいという気持ちもあるかも知れませんが、この組織がまちのため、人のために末永く存続するためにも、メンバー同士で知恵を絞り、組織を変えていくことが必要だと感じました。

最後になりますが、紀伊理事長をはじめとするメンバーの皆様、1年間本当にお疲れ様でした。皆様で築いた1年間の努力と成果を無駄にせず、今後もまちのため人のために茅ヶ崎JCが益々活躍することを心から願い、監事報告とさせていただきます。

ンジすべきだったと感じています。また、他の神奈川県内のLOMが賀詞交歓会を開催し、飲食をともにした交流の場を設けていたことを考えると、茅ヶ崎青年会議所としても同様の場を設けるべきだったのではないかと考えさせられました。行政関係者や他団体、特別会員やシニアクラブの先輩方、各LOMの皆様が一堂に会する貴重な機会だからこそ、連携強化や協力関係の構築に向けた対話の場を設けることの重要性を改めて認識しました。このような課題を踏まえ、今後の新年式典においては「変えてよいもの」「変えてはいけないもの」「変わるべきもの」を精査し、より強い組織づくりが必要であると感じました。

4. 3月例会（定時総会）（3月29日）

テーマ：LOMの運動方針を共有し、メンバー間の結束を深めることで、組織力を強化し、JC運動の発展を促す。

内 容：毎年開催される定時総会ですが、例年、出席率の低さが課題となっています。特に例会に参加するメンバーの顔ぶれが固定化しており、普段参加しないメンバーとの交流の機会が十分に確保できていない状況です。そこで本年度は、より多くのメンバーが参加し、交流を深められるよう第二部を設けました。

しかしながら、出席率の向上には至らず、期待していた交流の機会を十分に創出できなかった点は残念に思います。一方で、1対1で相手をリサーチし、全員の前で紹介する「他己紹介」を取り入れたことにより、一人ひとりが注目され、相手の話を聞き、お互いを深く知る機会となったことは非常に有意義でした。

今後も新たなメンバーが入会することが予想されるため、メンバー同士の理解を深め、仲間の一員として共に運動を行うための手法として、「他己紹介」は引き続き活用する価値があると考えます。

また、出席率向上のためには、メンバー同士が普段例会に参加していない仲間に積極的に声をかけることが不可欠です。特に新入会員に対しては、適切なフォローを行い、我々があきらめることなく継続的に働きかける姿勢が重要です。

組織としては、拡大と出席率向上に一層こだわりを持ち、例会の内容にも工夫を加え、参加しやすい環境づくりに注力していく必要があると考えます。

5. アロハマーケットへの参画（5月11、12日）

テーマ：本年度も、毎年5月に開催される「アロハマーケット」に参加しました。会場には、ハワイの文化を感じられる多彩なブースが並び、アロハシャツやハワイアン雑貨、ジュエリー、ハワイの食文化を楽しめる飲食店などが出店。さらに、フラダンスやハワイアンミュージックのパフォーマンス、ワークショップも開催され、訪れた人々がまるで姉妹都市・ホノルルの空気をそのまま感じられるような雰囲気となります。

内 容：茅ヶ崎青年会議所として、多くの来場者が訪れる「アロハマーケット」に毎年参画しています。本年度も、駐輪場の運営や会場の整備などのサポートを通じて、イベントの円滑な運営に貢献しました。

多くの方が足を運び、ステージパフォーマンスや各ブースを楽しむ姿が見られました。地域の魅力を発信するこの素晴らしい事業に携われたことを嬉しく思うとともに、今後もまちの活性化に寄与できるよう努めてまいります。

6. 7月例会（次年度理事長候補者所信表明）（7月9日）

テーマ：次年度理事長が所信表明を通じて方針やビジョンを示し、メンバーが共感と協力関係を深めることで、次年度の発展的な運動を支えるとともに、現LOMの見直しを行い、本年度の残りの事業を成功に導く。

内 容：次年度理事長の所信表明という重要な場を設けるにあたり、できるだけ多くのメンバーに参加してもらいたいと願っていました。しかしながら、最終的な参加率は62％にとどまり、目標の80％には届かず、広い会場の中で物足りなさを感じる場面もありました。改めて、参加率向上に向けた取り組みの必要性を実感しました。一方で、神奈川ブロック協議会の役員の皆様にもご参加いただいたことで、例会の価値がより高まり、次年度理事長の想いを深く理解する機会となったことは大きな収穫でした。メンバーからも「次年度の方針性が明確になった」「組織としてのつながりを改めて感じた」との声があり、所信表明の意義を再確認することができました。運営面では、音響トラブルや進行の課題、事前準備の不足など、いくつかの改善点が浮かび上がりました。特に、司会進行の精度や、登壇者への申し送りの徹底は、次年度に向けて強化すべきポイントだと感じました。例会の質を向上させるためにも、細部にわたる準備の重要性を再認識する機会となりました。また、ドレスコードの統一性が欠けていた点も課題として挙げられます。登壇者と一般参加メンバーの服装に統一感がなく、会の雰囲気ややちぐはぐな印象を与えてしまいました。次回以降は、統一したルールを事前に決め、会全体の一体感を演出できる工夫が必要だと考えます。今回の例会を通じて、やはり運営はメンバー全員の協力と主体性が鍵になることを改めて感じました。特に、総務関係の例会は毎年比較対象となるため、より良い形を目指し続けることが求められます。

7. 浜降祭への参画（7月15日）

テーマ：茅ヶ崎に夏の訪れを告げる暁の祭典、「茅ヶ崎海岸浜降祭」が2024年度も盛大に開催されました。浜降祭は神奈川県無形文化財に指定されており、関東屈指の規模を誇る神輿祭りとして、今年も多くの人々に賑わいました。

内 容：茅ヶ崎青年会議所として、本年度も浜降祭終了後の海岸清掃に参画しました。祭典には多くのメンバーが参加しており、当日は大勢の来場者で海岸が埋め尽くされるため、祭りの後の清掃活動は欠かせない取り組みのひとつです。地域の象徴である美しい海を守るため、2025年度以降もこの活動を継続し、より多くのメンバーとともに環境保全に貢献していきたいと考えています。

8. シニアクラブ交流会（8月31日）

テーマ：先輩諸氏との貴重な交流の機会

内 容：本年度も、現役メンバーとシニアクラブの先輩方が一堂に会し、世代を超えて交流を深める貴重な機会となるシニアクラブ例会に参加させていただきました。長年にわたり茅ヶ崎青年会議所を支え、築き上げてこられた先輩方との時間は、現役メンバーにとって歴史と経験を学び、JC運動の意義を再認識する場となりました。特に、入会間もないメンバーにとっては、初めて顔を合わせる先輩方との交流が大きな刺激となり、JCの伝統や地域貢献の姿勢を学ぶ貴重な機会となったように感じます。本年度のシニアクラブ例会を通じて、改めて歴史の積み重ねの上に今のJC運動があることを実感しました。今後も、この貴重なつながりを大切に、現役メンバーとしての責任を果たしながら、次世代へとバトンをつないでいけるよう取り組んでまいります。

9. 9月例会（出向者報告会）（9月5日）

テーマ：出向への理解を深め、メンバーの出向意欲を高めるとともに、次年度リーダーの決意を共有し、次年度以降の活動意欲を向上させる。

内 容：本例会の目的であった「出向への興味・意欲の向上」と「次年度以降の活動意欲向上」について、一定の成果を得るとともに、いくつかの課題も浮き彫りとなりました。第一部の出向者報告会では、事前に質問者を指名し、質疑応答の時間を設けることで、メンバーが積極的に向

き合う姿勢を引き出すことができました。これにより、単なる動画視聴に終わらず、参加者が主体的に考え、出向の意義を深く理解する機会を提供できたと感じています。また、強制的に質問させる工夫も集中力を高める要素となり、アンケート結果からも一定の成果が確認できました。しかしながら、全体として自発的な質問が少なく、一部のメンバーにとっては「聞くだけ」で終わってしまったことは課題として残りました。出向の本質的な魅力をより伝え、全員が積極的に関わる場を作るためには、実際の体験を交えた企画や、出向者との直接的な交流の機会を増やすことが必要だと感じています。第二部の次年度理事監事候補者報告会では、次年度の役職に就くメンバーの参加率が高く、各リーダーの決意表明を通じて、次年度に向けたモチベーション向上につなげることができました。しかし、役職を持たないメンバーや若手メンバーの参加率が低かった点は、組織全体の意欲向上という観点では課題として残りました。次年度に向けて、全メンバーが主体的に関与できる環境を作ることが求められます。また、運営面では音響トラブルやリハーサル不足による進行の乱れなどが発生し、スムーズな進行を妨げる要因となりました。事前の準備やチェック体制の強化を徹底し、次回以降はより円滑な事業運営を実現できるよう改善していく必要があると感じています。今回の例会を通じて、一定の成果を得ることができた一方で、多くの改善点を見出す機会にもなりました。これらの学びを次年度に引き継ぎ、より質の高い事業運営を実現することで、メンバーの意識向上と組織全体の活性化につなげていきたいと考えています。

10. 11月例会 定時総会（11月14日）

テーマ：全ての正会員が次年度体制を理解し、総意に基づいてJC運動の櫓を引き継ぐとともに、本年度の事業を振り返り、成果や課題を共有することで、メンバーの意識とモチベーションを高め、次年度の活動へとつなげる。

内 容：2024年度の活動を振り返るにあたり、定時総会および事業報告会は、次年度体制の基盤を築き、本年度の成果や課題を全メンバーで共有する貴重な機会となりました。無事に開催できたのは、メンバーの協力とシニアクラブの皆様の支援があってこそであり、心より感謝申し上げます。

第1部（定時総会）では、議案の承認を通じて2025年度体制への理解を深めることができた一方で、欠席者へのフォローや説明の簡潔化が今後の課題として浮き上がりました。全員参加型の意思形成を実現するためにも、次年度へ向けた改善が必要であると感じています。

第2部（事業報告会）では、各委員会の取り組みを振り返り、成果と課題を共有することで、メンバーが次年度の方向性を明確にできたことは大きな成果でした。特に、資料作成を副委員長や幹事に任せただけで、若手メンバーの主体意識が育まれた点は、今後の組織の成長に繋がる重要な要素だと感じています。ただし、報告時間の長さやスライドの視認性については改善の余地があり、より効果的な発信方法を検討していく必要があると考えます。

また、認証式では新たな2名の仲間を迎え、全員で祝福できたことは非常に意義深い瞬間でした。未来のJCを担う新入会員がこの組織の一員として成長していく姿を見られることは、私たちにとっても大きな励みとなりました。総括として、JCの「真剣さ」と「連携力」の強さを改めて実感するとともに、報告内容の簡潔化や親しみやすさを意識することで、より多くのメンバーが共感しやすい場を作れるのではないかと感じました。

11. 歴代理事長懇談会（12月4日）

内 容：本年度も、毎年開催されている歴代理事長懇談会をコルティール茅ヶ崎にて開催しました。多くの歴代理事長の皆様と交流する貴重な機会となり、これまでの経験やJC運動にかけた想いを直接伺うことで、茅ヶ崎青年会議所の歩みと歴史の重みを改めて実感しました。

また、本懇談会は歴代理事長のみが参加できる場であるため、長年にわたる組織の成長や運動の継承を肌で感じる事ができた貴重な時間となりました。今後もこの歴史と想いを大切にしながら、次世代へとつないでいきたいと考えています。

12. 12月例会 卒業式 第一部（12月9日）

テーマ：卒業生が茅ヶ崎青年会議所での活動を振り返り、地域への誇りや感謝の想いを共有するとともに、残るメンバーがその志を引き継ぎ、次代のリーダーとして未来に向けた一歩を踏み出す。

内 容：本年度の卒業例会を振り返り、卒業生と現役メンバー双方にとって意義深い時間を提供できたことを嬉しく思います。この例会は、卒業生がこれまでの活動を振り返り、感謝の想いを伝える場であると同時に、現役メンバーがその志を受け継ぎ、未来への一歩を踏み出す大切な機会です。その意味で、多くの参加者が卒業生の想いや地域社会への貢献意欲に触れ、心を動かされたことは大きな成果でした。卒業生挨拶では、現役メンバーがその活動の重みを改めて実感し、自身が卒業を迎えたときにどのような姿でありたいかを考える契機となりました。また、会場の華やかで厳粛な雰囲気は、卒業生にとって特別な一日を演出するのに大きく寄与したと感じています。一方で、いくつかの課題も明らかになりました。進行の遅れにより、第二部への影響が出たことは反省すべき点です。タイムキーパーの配置や進行責任者の明確化を行い、次年度以降は円滑な進行を実現できるよう改善が必要です。また、リハーサルへの参加者が不足し、動線確認や役割分担が不十分だった点も、運営の混乱を招いた要因となりました。今後は、リハーサル段階から必要なメンバーを確保し、より万全な準備を進める体制を整えていくべきです。さらに、卒業ムービーの完成度についても課題が残りました。特に、新入会員や歴の浅いメンバーの写真が不足し、既存写真の使い回しが多くなったことは、卒業生の活動を十分に反映しきれなかった要因の一つと考えます。今後は、年間を通じて事業ごとに写真を記録し、早い段階から卒業例会に向けた準備を進めることが求められます。総じて、本年度の卒業例会は、卒業生にとって達成感と感謝を共有する場となり、現役メンバーにとっては次世代への意識を高める貴重な機会となりました。しかし、運営面での改善点も多く見られたため、次年度への引き継ぎをしっかりと行い、卒業生も現役メンバーもより満足できる例会を目指していくことが重要です。卒業例会は、茅ヶ崎青年会議所にとって一年を締めくくる重要な行事であり、組織の未来へとつながる大切な場です。この場を共にしたすべてのメンバーに感謝を申し上げるとともに、次年度のさらなる発展を心より期待しています。

13. 財務及びコンプライアンスの管理

内 容：本年度は、LOM運営における適切な財務管理を主軸として活動を行いました。初めての経験を積みながら、透明性・公正性の高い財務運営に取り組む一年となりました。会費が適正に扱われるよう管理を徹底するとともに、公益社団法人として茅ヶ崎に好影響を与えられる例会・事業の実施に向けた財務面でのサポートを行いました。また、新年式典や定時総会に向けた資料作成、会員名簿の整備、日々の議案における財務チェック など、多岐にわたる業務を委員会メンバーと協力しながら遂行しました。初めての経験だからこそ学ぶことも多く、日々の業務を通じて財務の重要性やLOM運営における責任の重さを実感する一年となりました。今後は、さらに精度の高い財務管理を目指し、次年度へと引き継いでまいります。

感 想

この1年間、委員長として活動する中で、組織を支える責任の重さと、仲間とともに成長することの大切さを改めて実感しました。3年目となる今年は、これまでの経験を活かしつつも、常に新たな課題に向き合い、組織の運営やメンバーの意識向上、地域との関わりをより深めることに力を注ぎました。

LOMの財務管理や総会、広報活動、そして各種例会など、多岐にわたる事業を進める中で、計画を実行

に移す難しさと、それを乗り越えるためのチームワークの重要性を改めて痛感しました。特に、組織としての透明性・公正性を保ちつつ、より多くのメンバーが主体的に関われる環境を作ることが、今後の成長に不可欠であると強く感じています。

また、地域と連携した活動を通じて、青年会議所の運動がどれほどまちに影響を与え、支えられているかを再認識する機会となりました。これまでの伝統を受け継ぎながらも、新しい時代に合った組織のあり方を模索することが求められる中で、柔軟な発想と実行力が重要であることを改めて実感しました。

この1年間、数々の課題や困難に直面しながらも、それを乗り越えられたのは、共に歩んできたメンバーの支えがあったからこそです。青年会議所は、一人ひとりの力が集まり、大きな運動となる組織です。だからこそ、仲間と共に考え、協力し、次世代へとつなげていく姿勢が必要だと感じています。

委員長としての経験は、私にとってかけがえのない学びと成長の機会でした。この経験を胸に刻み、今後もJCで得た気づきや学びを活かしながら、次なるステージへと進んでいきたいと思ひます。

最後に、この1年間、共に活動し、支えてくださったメンバーの皆様、シニアクラブの先輩方、そして地域の皆様に心から感謝申し上げます。青年会議所が今後もより良い組織へと成長し続けることを願い、私自身も新たな挑戦を続けていきます。

本当にありがとうございました。

決 算

項 目	予 算	決 算
1. 1月例会（新年式典）	120,000円	117,500円
2. HP作成（年間広報）	120,000円	120,000円
合 計	240,000円	237,500円

LOVE&PRIDE醸成委員会

委 員 長 石 川 雄 也
副理事長理事 梶 晴太郎

スローガン

「同心協力」

事業内容・事業報告

1. 全体事業への参画

年間を通して、LOM事業全般、各種大会・地域事業などへの参画を行いました。

2. 湘南祭への参画 5月25日(土)・5月26日(日)

テーマ：2024年度～茅ヶ崎の魅力再発見～資源循環大作戦、今年で31年目の開催となり、食・音楽・参加型・スポーツ・買う・見て楽しむなどの全てが展開される複合型ビーチイベントです。

内 容：子育て世帯にも安心して参加していただきたいとの想いのもと、本部ブースに併設してベビーカーの預かり、おむつ替え・授乳スペースの確保（4室）し、ビーチでの催し自体魅力的なものです、乳幼児を抱えるママ・パパにとってはケアしないといけないことが多く、ゆったり

と過ごせないという実情を子育て世代の課題点を解決するために行いました。また、自転車の来場者が多く駐輪場の誘導係も同時に行いました。湘南祭は準備からゴミ拾い迄考えると4日間の工程になります。メンバーの参加枠を時間ごとに分けてメンバー自身も湘南祭自体を楽しむ時間を確保するのも重要と感じました。

3. 湘南4LOM合同事業 5月28日(火)

テーマ：各LOMの共通課題である会員拡大についての課題を明確にする。

内 容：4LOM共通している会員減少についての課題に対して、プロモーター資格を有する平塚OBの星井先輩と、藤沢OBの金子先輩にお越しいただき、主体的に取り組む仲間づくりはどのようにおこなうのかをご講演いただきました。会員拡大がなぜ必要なのか、拡大についての意識を上げることができました。

4. 6月例会 茅ヶ崎魅力祭 6月15日(土)

テーマ：まちの魅力を感じてもらい地域愛溢れる市民を増加させるために、市内にある様々な魅力をブース・キッチンカー・ステージにて体感していただきました。

内 容：茅ヶ崎の魅力をPRする各種ブースを出展し、茅ヶ崎の食文化を体感して頂くために、茅ヶ崎名物を取り扱うキッチンカーをお呼びし食の魅力を堪能して頂きました。その他に茅ヶ崎の魅力を伝えるステージブースも開設しクイズ大会や茅ヶ崎で活動する様々な団体の催し物を開催し市民の方へ披露して頂きました。中央公園と好立地な会場ではありましたが、検証するためのアンケート回収に苦劳しました。区画がされていない為自由に動けるのは参加者にってはストレスなくいいかと思いますが、アンケート回収を大切にする我々の事業は区画を行うか、興味を惹く景品との引き換え、アンケートに回答しないと参加できない企画があるなどの工夫は必要になります。今後も好立地な中央公園で事業を行うと思いますが、その点を意識して開催すれば必ず結果が付いてくると思ひました。また、準備の段階から普段中々参加できないメンバーが手伝いにきてくれて非常に良い出席率だったことはとても嬉しく思ひます。行政、企業、地域団体、市民が本例会に参加することにより、本事業の様々な茅ヶ崎の魅力を通して茅ヶ崎への関心と意欲が高まり、愛郷心を醸成する一助となりました。20以上の団体や企業と繋がりを持ち、本例会を無事開催することができました。

5. ちか道清掃 7月2日(火)

テーマ：毎年海開き前にちか道の清掃を行い海水浴場に向かう方々が気持ちよく通っていただけるようにします。

内 容：多くのメンバーで行い、共に汗を流したことにより、組織としての団結力がより一層感じられ、先輩方が繋いできたちか道の清掃作業をすることで、誇りと愛情、そして責任を感じられる良い機会となりました。本年は6年振り実施する「未来手想図」のためにも例年にましてしっかりと行いました。

6. サザンビーチフェスタ2024への参画 7月25日(土)

テーマ： 関係各位のご協力、ご理解のもと、今回で19回目となります「サザンビーチフェスタ2024」を、サザンビーチフェスタ実行委員会と共同により、「LOVE & PRIDE ～波・音・光～」のテーマのもと開催し、昼間では感じることでできないサザンビーチちがさきの夜の魅力を楽しんでいただけるよう、夕刻からの開催とし、参加された方々がこのまちに誇りと愛情を育んでいただける様な企画にて実施いたします。

内 容：ストリートピアノや烏帽子岩のライトアップ、キャンドルトワイライトなど日没後の海辺を舞台に開催し、我々は6年ぶりとなる「未来手想図」を実施致しました。175名の枠は開始前から長蛇の列ができキャンセル待ちが出るほどの大盛況でした。時間も30毎に区分けし混雑も

緩和しながら実施し大きな問題なく非常に大成功に終わりました。今回初めての参加料を徴収する形をとりましたが、事前に注意事項をしっかりと周知したことによりトラブルなく、茅ヶ崎青年会議所から始まったこの事業を共同開催としてしっかりとやり遂げたと思います。

7. 10月例会Big Aloha Shirt～アロハ・エ・コモ・マエ～ 10月27日(日)

テーマ：2025年7月にオープンする道の駅「湘南ちがさき」に市民参加型のアロハシャツを飾る企画を行政・企業・市民・JCで実施致しました。茅ヶ崎市民の手形を採取し、参加者の記憶に残りまた訪れなくなる仕掛けを「ビッグアロハシャツ」で行い、地域愛と誇りを醸成する事業を開催しました。

内 容：本年度LOVE&PRIDE醸成委員会の集大成として本事業を開催いたしました。本委員会は様々な視点から地域愛の醸成にアプローチし、数多くの市内外の方に茅ヶ崎の魅力に触れる機会を提供し発信してまいりましたが、その中でも茅ヶ崎の伝統や文化を新しい形で継承し後世に形として残すべく、本年ホノルルとの姉妹都市締結10周年記念であるため「アロハシャツ」をモチーフに、サザンビーチフェスタ2024で担当した「未来手想図2024」で行った手形の採取にて、参加者の記憶に残りまた訪れなくなる仕掛けを「ビッグアロハシャツ」で行い、地域愛と誇りを醸成する事業を開催いたしました。500名の事前申し込みの枠は埋まり、当日は451名の市民の方に参加いただきました。クラウドファンディングを活用した広報も実施しましたが、非常に有効なツールであるのは間違いないのですが、仕上がりを含め使いこなせていませんでした。クラウドファンディングは早い段階からの実施・告知と事業終了後までを想定して実施することが重要でした。6月例会で課題だったアンケート回収においては区画を行ったためアンケート100％回収することができました。雨天対策も含め次年度への引継ぎをしっかりと行い、2025年7月にお披露目ができることを楽しみにしています。

8. 湘南4LOM合同懇親会 11月5日(火)

テーマ：5月に行われた合同事業で実施した拡大講演での共感を今一度思い起こし、拡大状況の発表を実施することで4LOM間での拡大状況や課題を抽出する。また、次年度へ向けた体制の発表を実施し今後の活動への協力体制を整える。

内 容：元々土曜日で年間計画されていたものがスケジュール変更となり、平日へ変更され、そこから再度スケジュール変更を行い10月予定であったものが、11月5日開催となりました。内容は湘南4LOMまちづくり会議の年間の振り返りを行うということで、5月事業の振り返り・拡大状況の情報共有は必須となっております。そのほか次年度の役員紹介を行い、4LOMの旗の引き継ぎに関しては廃止しました。その代わりに、LOMの間の相互尊重を醸成する機会として、お互いの魅力をアピールし合う、発見し合う、そして、お互いを応援するという二つの目的から、地域の魅力プレゼンバトルを開催しました。再三なる日程変更を行ったため参加人数が11名と少ない結果となってしまいました。日程調整一つにしても4つのLOMのスケジュールの擦る合わせを行う難しさなど肌身でしっかりと体感しました。これは、当初のスケジュール通り行うことにしっかりと責任をもち、委員会運営を行う必要があると感じました。しかしながら、4つの地域が集まり、共通の目標に向かって切磋琢磨するとても有意義な機会であったことは間違いありません。今後も湘南4LOMまちづくり会議の魅力を発信し、お互いが連携をしていくきっかけとなることを期待しました。

9. 除幕式 12月14日(土)

テーマ：2024年07月27日（土）に開催された、サザンビーチフェスタ2024「LOVE&PRIDE～波・音・光」において、茅ヶ崎青年会議所ブースとして未来手想図の手形を採取する事業を行いました。

焼きあがったタイルの貼り付けが完了し、そのお披露目会として関係諸団体・市民の方をお招きし除幕式を開催致しました。

内 容：当日は市長を始め亀井 泰人実行委員長、矢野 嘉哉副実行委員長や多くの先輩方にお越しいただき、手形採取に参加した市民約25名も参加していただきました。市長にはなぜこの事業が続いているのかの挨拶を頂き、実行委員長にはなぜこの事業が始まったのかの歴史について挨拶していただきました。幕を外し、参加された子供が自分の手形に手を合わせている姿をみて、本当に素晴らしい事業だと再認識致しました。しかし、本来であれば除幕式は10月ころに行っていたのですが、焼き上がりまでに紛失や破損などの再取得に時間を要し、10月例会の準備が重なり12月開催となってしまいました。この要因は次年度にしっかりと引継ぎを行い円滑な開催ができるようにサポートしていきます。

感 想

わからないことだらけの中でスタートした初委員長の職では本当に多くの経験をさせていただきました。特に難しかったのは委員会運営です。人をお願いする難しさ、甘える難しさ、事業を構築する難しさ…様々なありますが、仕事では中々味わえない経験を多くさせていただきました。自分のダメな部分を再発見できたこと、パソコンの文字打ちのスピードが速くなったり、自己成長を感じる場面も多々あります。これは、役職を担ってみないとわからないことで、メンバーを預かる責任感や理事長の想いを汲み取って構築する議案の難しさ、それを実現するために様々な意見をいただく理事会での上程。言葉で説明するのは非常に難しいですが、不安や苛立ち、安堵など真剣に向き合えば向き合うほど色んな感情が湧き出てきました。しかし、そんな時にそっと支えてくれる担当や委員会メンバー、互いに切磋琢磨した同期委員長、そして事業に参加してくれた全てのメンバーの行動に感謝の気持ちでいっぱいになりました。少し休憩してしまった時間はありましたが、自分自身を見直すいい機会となりましたし、この時間を無駄にすることがないように意識の再確認する機会となりました。

最後となりますが、LOVE&PRIDE醸成委員会の委員長に任命をしてくださった紀伊理事長、担当として大きく支えていただいた美澤副理事長、中々円滑には進まなかった企画構築に様々なアドバイスや行動を起こしてくれた委員会メンバー、議案に数多くの意見を出してくれて審議が通ったときには大きな拍手を最後までしてくれた同期委員長、そして日頃から事業に協力し参加してくれたLOMメンバーの皆さま、1年間貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

決 算

項 目	予 算	決 算
1. 4月例会	0円	0円
2. 6月例会	200,000円	190,903円
3. 10月例会	490,000円	486,523円
合 計	690,000円	677,426円

拡大交流委員会

委員長 山 來 京 生
副委員長理事 相 馬 竜 也

スローガン
「革命」

事業内容・事業報告

1. 全体事業への参画（通年）
年間を通して、LOM事業全般、各種大会・地域事業などへの参画を行いました。
2. 新年会の開催及び運営
テーマ：メンバー間のベクトルを合わせると同時に、結束力を高め笑顔溢れる交流の機会とする。
内 容：1月例会新年式典後に、メンバー及びゲストにて新年会を開催しました。近年は新年会自体コロナの影響で開催できておらず4年ぶりの開催となりました。新年会ではメンバーのベクトルを合わせるために各委員会に動画やパワポを用いて、発表を行っていただきました。委員会の活動内容や方向性を示すことができ1年間の各委員会の方向性を周知することができました。また交流の面ではビンゴ大会を用意しました。簡単なゲームですが誰でも知っておりとても盛り上がりました。多くのメンバーから「楽しかった」など意見をいただいたことから、最高のスタートダッシュがきれたと思います。
3. 京都会議の引率
テーマ：笑顔あふれる未来へ向け、1年間の運動の方向性を理解し、リーダーとして行動を起こさなければならないという気持ちを持ち、決起する場といたします。
内 容：京都会議は毎年1月に開催され、日本青年会議所会頭の所信を拝聴できる機会となります。日本青年会議所の運動の方向性を知ることができたり、事業のスケールメリットを体感することができます、しかし限られたメンバーしか参加しないのが課題と感じました。どうやって動員するのか、どう魅力を伝えるのか、工夫を凝らした動員を行い多くのメンバーで参画することができればLOMの発展にも繋がると思います。
4. 2月例会（メンバー及びゲストに理念共感を目的とした研修事業）
テーマ：メンバー一人ひとりが青年会議所の理念や魅力を拡大対象者へ伝播し入会へ導くとともに、入会までのプロセスを体感する事で拡大活動の主体性を感じ、継続して拡大活動を行っていくための一助とする。
内 容：今回の例会は交流要素を盛り込んだ拡大例会を行いました。理事長が良く仰っていた、青年会議所の魅力や活動理念を理解した母数を増やす事にこだわり、理念共感に重きをおきました。アチーブメント株式会社様に協力してもらい活動理念を対外に伝播する事ができたと思いました。また、目標数の会員拡大は達成できませんでしたが、一番の目的であるメンバー全員に会員拡大において、主体者意識を持ってもらう事はできたと考えます。今回は理念共感×交流という手法で臨みましたが、拡大例会自体様々な手法があると思います。入会までのクロージングをイメージした時、やはりゲストの方は自身へのメリット や還元されるポイントが重要になってくると感じました。相手を理解し寄り添う事が拡大 に一番必要な要素だと感じました。会員拡大は担当委員会だけで行うものでなくLOM全体でやるべきです。しかし一方的に お願いするだけでなく、どのようにメンバーを巻き込んでいくか考え必要な準備をすることが拡大

につながると感じました。

5. 大岡越前祭への参画

テーマ：連綿と続いている地域事業をともに構築し、地域諸団体と関係地を築いていく。

内 容：第69回大岡越前祭に毎年行っている奴隊として参画しました。奴頭を田中ことみ君に努めてもらい、計8人で参画いたしました。参加するまでは恥ずかしい気持ちや、やりたくない気持ちもありましたが、何度かみんなで練習する中でやるならやってやろうという気持ちが芽生えました。また当日は多くの客席の方から、「すごい」「ここで踊って」など喜びの声もいただきました。地域の方々の中には茅ヶ崎JCの奴隊を楽しみにしてくれている方も多いのだと感じました。市内を練り歩く中でツインウェーブを徒歩で渡ったり、日頃経験できないことを経験することができました。

6. 5月例会（家族会）

テーマ：JC運動に参画するにあたり多くの関係者にご理解、ご協力いただいているため、日頃の感謝を形にして伝える事を目的としました。

内 容：今回の5月例会は家族会という形で日頃のJC活動を支えてもらっている家族 への感謝の想いを伝えることを目的といたしました。事業のコンテンツとして採用した地引き網でしたが、網を引く際には参加してくれたメンバーとメンバーの子供たちが力を合わせて網を引き、減多に行わない動作に四苦八苦しながら引くことで盛り上がりましたが、天気や時化の関係 性もあるのか、大量とは行かず小さな魚しか取れなかったのが残念ではありま した。アトラクションで協力してもらった湘南スナッグゴルフ協会については初めて やるメンバーも多く、体験してくれたメンバーや子供達は面白いと夢中になってくれていましたが、当日の案内、段取が良くなく、自由にやってしまっているようになってしまったので、本当はやりたかったけど奥手で輪に入れないという子供がいたら残念なことをしてしまったと反省をしております。BBQにおいても全ての役割分担が上手くできておらず、焼く人、運ぶ人等の偏りは出てしまっていたため、今後は役割分担などもメンバー一丸となってや っていけるような設えにしていかなければと思いました。個人的には家族にも参加してもらい、日頃の感謝を伝えることができ、また LOMのメンバーたちとその関係性を実際に見てもらうことで、日頃どんな人たちとどんな事をしているのか、少しでも理解してもらえたかなと思いました。

7. サマーコンファレンスへの参画・津JCとの交流会の企画及び実施

内 容：2024年度のサマーコンファレンスは「Design the future」というテーマのもと、参加者それぞれの地域にある課題を解決するために、参加者が住み暮らす地域を理想の地域としてデザインし、もち帰り実践することのできる場として開催されました。また、開催地は横浜で毎年行われるため、日本JCが行う事業の中でも参画しやすい機会となります。しかしLOMのメンバーを多く連れていけないのが課題になるかと思います。大会にはフォーラム等で学ぶことだけではなくメンバー間の交流にも関係してきます。なので多くのメンバーで参画することが望ましいです。また津JCとの交流会はえぼしにて開催しました。津JCとは姉妹締結をしてから40年以上が経ち、良き仲間、そして良きライバルとして毎年交流をしております。津JCとはお互いの事業に参画しあったり、出向ではお互い声をかけ助けてもらったりとなくてはならない存在です。サマコンの開催地が横浜であることから、今後の交流会は横浜での開催が良いと思います。

8. 関東地区大会の引率

内 容：栃木県で開催されました、第72回関東地区 栃木大会に参画致しました。関東地区大会では関東地区協議会の運動の発信の機会となりました。また大懇親会では道路を区切り、お祭りが

開催されており栃木県の名物のお店や栃木出身のゲストによるステージが行われ、大いに盛り上がっていました。

9. 8月例会（メンバー内の交流例会）

テーマ：普段とは違った形で交流を図り懇親を深める事で、結束力を高めると同時に、交流の輪を広げる事を目的としました。

内 容：今回の例会は交流がメインとなりました。とにかく今までにない形で交流が図れる機会の提供にこだわりました。協議段階から色々な意見をいただきながら試行錯誤を重ねながら例会に臨みました。結果としては多くのメンバーから「楽しかった」「交流が図れた」との意見をもらうことができました。目的である交流を通じて結束力を高めることはできたと考えます。しかし今まで以上に参加率が低いという課題も残りました。そこを踏まえると開催地をもっと近くにすべきだったのか、他にももっと良い内容の例会ができたのではないかと思います。今回の例会を通じて多くの反省点がみつかりました。今後は「交流×○○」のようにＪＣらしさを取り入れながら内容を考える、そして楽しむ事も忘れない内容であればＪＣ運動としてよくなっていくと思いました。

10. 神奈川ブロック大会への引率

テーマ：本大会は、「STARTING New Values」をスローガンとして、我々の住み暮らす地域の更なる発展を目指して、地域の強みを保ちつつ、地域における新たな価値を創造につながるフォーラムを構築し、地域団体、行政との連携を重ね、課題解決につながる大会を開催することで、鎌倉の地域発展に貢献を致します。

内 容：第52回神奈川ブロック大会鎌倉大会に参画致しました。鎌倉大会ではブロック協議会の最大の運動を発信する機会となり、様々な経験を得ることができました。またLOMからも多くのメンバーを輩出しており、LOM外で活躍する姿を拝見でき、刺激を受ける事もできました。青年会議所には出向制度があり、神奈川ブロック協議会が一番出向しやすい場所なのかなと思います。また様々な経験により自身の成長にも大きく影響するので、LOMメンバーには出向の魅力を伝え、それをLOMで還元することで、組織の発展につながっていくのだと感じました。

11. 全国大会への参画

内 容：第73回全国大会福岡大会に参画致しました。全国大会は日本JCの運動の発信の場でもあります。それと同時に全国の卒業生の卒業式でもあります。茅ヶ崎JCからも多くの卒業生が参加しました。日本JCの大会にはいくつか目的がありますが、最大の魅力はスケールメリットを感じる事ができます。LOMの規模感とは全く違う事業を体感することができ、様々な角度での刺激を受ける事ができました。また、卒業式では全国の卒業生たちが一同に歌を歌ったり、泣いてる姿を見て、自分が卒業するときにもそうやって卒業していきたいと思える姿を見せていただきました。

12. 12月例会（卒業式第二部）

テーマ：卒業生に感謝を伝えると同時に、安心して卒業してもらう事。

内 容：本年度の12月例会第二部には個人的にもすごく思い入れがありました。卒業生の中にはJCでも仕事でもお世話になっている人たちがばかりでした。なので例年と一味違う第二部を考えていました。そこで出たのがアカペラでした。アカペラは簡単なものではなくかなりの練習とそれに付き合ってくれるメンバーの協力が必要でした。しかし師走で忙しく、また今年度と次年度が交錯しておりハードスケジュールでしたが多くのメンバーが協力してくれました。仕事の隙間時間で来てくれるメンバーやなかなか来れないから個人練習を自らやってくれたり、す

ごく胸が熱くなりました。それも卒業生の方々の人望であり慕われていた証なんだろうと思います。涙しながら卒業生していく人もいれば、笑いながら卒業していく人もいます。第二部では色々な卒業生の姿を見ることができ、運営として携わる事ができとても光栄に思いました。来年度はしっかりと引継ぎをし、来年の委員長に託したいと思います。

13. 新入会員研修事業の企画及び実施

内 容：年間で2回のアカデミー生向けの新入会員研修を行いました。これは近年でも課題になっている、在籍年数の短期化やそれに伴い十分な経験を積まずに要職を担っているメンバーが多いことを少しでも解消できないかと考えていました。内容としてはJCプロトコルや、JCの基礎を中心に行いました。毎年新入会員が入ってくる組織であるため、新入会員研修は必須だと感じました。また、要職を担っているメンバーでも改めて気づく部分も大いにあるので、多くのメンバーで行ってほしいと思いました。

14. 会員拡大活動

内 容：本年度は30人の会員活動を掲げて活動して参りました。例年通りのやり方や、泥臭く、会社に訪問と足を使ったり様々な活動を行いました。残念ながら目標人数には達成することができませんでした。色々な課題も見えましたが、何よりメンバーひとり一人が会員拡大活動に主体者意識を持って行動しなければならないと感じました。また茅ヶ崎JCの魅力や理念を全員で伝えられるようになることが、全員拡大には必須になると思います。会員活動はこの組織の存続にも関わる大きな職務です。担当委員会だけではなくLOM全体で行うという意識改革、システム作りが必要だと感じました。

15. 拡大懇親会及び拡大戦略会議

内 容：年間3回の拡大懇談会を開催しました。ゲストの方も気軽に参加できるような雰囲気にする事で入会にも導きやすいと思います。ゲスト候補がいる場合は予定していなくてもどんどん開催すべきですし、どんな団体なのか、どんな人たちがいるのかっていうのは一番わかりやすい機会だと思います。例会に参加したゲストや、来られなかった方には熱が冷める前に拡大懇談会を開催することが大切だと思いました。

感 想

本年度、拡大交流委員会の委員長として様々な職務がある中で、大きく二つのことを意識しながら委員会運営を行ってきました。一つ目は交流です。まずどの事業を展開していくにもLOMが盛り上がっていなければ事業は成功に導くことができません。LOMを盛り上げるにはまずは委員会メンバーを盛り上げることを意識しました。委員会メンバーが盛り上がっていれば、おのずとLOMメンバーにも伝播され、活気がつくと考えていました。もう一つ意識していたのは育成です。次年度以降も要職を担うメンバーを育てるのも委員長の務めの一つだと思い、常に心掛けていました。それができていたのかどうかはわかりませんが、拡大交流委員会から多くの理事構成メンバーやスタッフを輩出できたことが本当に嬉しかったです。

この一年間、本当に多くの職務がある中で相馬副委員長理事を始めとする委員会メンバーの皆様には助けていただきました。自身に足りない部分は誰かにまかなってもらい、またメンバーの誰かが困っていれば助ける人がいて。委員会という小さな組織の中でも多くの学びがありこれは委員長職を受けていなければ気づくことができなかったのだらうと思います。

最後に、拡大交流委員会の委員長に任命してくれた紀伊理事長、担当として舵をとってくれた金子副理事長、本当にありがとうございました。理事長におかれましては会うたびに山來君ならできると声をかけていただきありがとうございます。金子副理事長とは何度もぶつかり合いましたがそれも良い経験でした。すべての経験を活かし今後の活動に邁進して参りたいと思います。一年間ありがとうございました。

項 目	予 算	決 算
1. 2月例会	230,000円	220,020円
2. 5月例会	50,000円	48,551円
3. 8月例会	50,000円	49,530円
合 計	330,000円	318,101円

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 規則審査会議 出向者報告

議 長 木 村 光太郎

2024年度は、公益社団法人日本青年会議所総務グループ規則審査会議議長として1年間出向させていただきました。日本JCへの議長委員長出向は、2013年岡本修二先輩以来ということで、もちろん自分を含め、現在のLOMメンバーには未知の世界でした。本音を言えば、前年度に創立55周年の理事長を務めさせていただき、本年は最終年度だったこともあり、じっくりとLOMや地域に貢献できるポジションを経験したいと考えたこともありました。しかし、当時の望月直前理事長より、「次に茅ヶ崎JCから日本JCの議長委員長が出向できるチャンスがいつ来るかわからないのでチャレンジしてほしい。」という言葉に後押しされ、出向を決めました。日本JCは、全国の限られたメンバーが出向できる場です。ただ単に自分が自分という考えだけでは到達できる場所ではありません。メンバー、家族、社員の支えや理解はもちろんのこと、茅ヶ崎JCシニアや神奈川ブロック内のシニアの皆様にも多大なる支援をいただき、出向の切符を手にすることができました。8月のある日、突然次年度専務理事から電話が掛かってきて、「8月27日、11時に神戸のここに来てください。PCと3日分の着替えだけで大丈夫です。ホテルの手配はこちらでやります。」というごく短いやり取りのみで長い1年半が始まりを告げました。いわゆる呼び込みというものです。あの時の緊張感は一生涯忘れられないと思います。本当にこの1年半、仕事や家族よりもJCを優先させた期間となりました。呼び込み当日は、役員との面談を経て、会頭より「あなたを総務グループ、規則審査会議議長に任命します。」ということで本役職を拝命いたしました。以前より日本JCへ出向させていただきました機会がありましたので、始まってみるとある程度は予想できたことが多くありましたが、1年半自分のみでやり遂げることはできませんので、スタッフ集め、委員集めが始まるのですが、これが一番大変だったと記憶しています。職務としては、日本JC全ての会議・委員会だけでなく、10地区協議会、47ブロック協議会のコンプライアンスを守っていくという使命がありましたが、本当に自分にできるのかという不安やプレッシャーは常に感じていました。規則審査会議は事業がない分、盛り上がる場面を作ることが難しく、委員会運営は苦労しましたが、全国から集まってくれたスタッフに恵まれ、非常に楽しく出向させていただくことができました。私自身は今年で卒業してしまいましたが、非常に多くの資料を作成しまとめましたので、今後のLOMの財産にもしていただければ幸いに思います。最後に、この日本JCの議長という大役の中、LOMの理事長として支えていただいた紀伊理事長、そして羽場専務をはじめ、出向してくれたメンバー、出向メンバーではないにも関わらず手伝ってくれたメンバー、そしてシニアクラブの先輩諸兄に感謝の意を表しまして私の出向者報告とさせていただきます。1年間大変ありがとうございました。

本年度は、公益社団法人日本青年会議所総務グループ規則審査会議に総括幹事として出向の機会をいただきました。

茅ヶ崎JCからも数年ぶりの議長委員長としての出向ということもありLOMをあげての機会となりました。私自身初めての日本JCへのスタッフ出向になり業務の多忙さ移動の多さには対応できるところに限りがあると感じました。しかし今回の出向は私にとって大きな学びの場となりました。会議の設営やコンプライアンスを順守することの大切さをはじめ日本JCのスケール大きさを感じました。JC運動では、移動時間の長さが成長の機会に繋がると教わった言葉を思い出し日常生活では味わうことのできない経験となりました。

この度の出向で得た経験をLOMへ持ち帰り今後のJC運動に活かしていきたいと思います。出向の機会をいただいた紀伊理事長には心より感謝申し上げます。

委員 安 武 芳 洋

私は、本年度の公益社団法人日本青年会議所総務グループ規則審査委会議に委員として出向させていただきました。

日本JCへの出向は初めてであり、LOMでは体験できないスケールメリットを経験出来ることに期待しての出向でありました。また、本年は木村光太郎君を規則審査委会議の議長として出向させて頂いたことから、少しでも力になればという思いもございました。

実際に参加をさせて頂き様々な日本JCの議案を拝見することで、その規模間や内容の濃さに圧巻されました。規則審査委会議の主な役割は、上程された議案のコンプライアンスチェックを行うというものでしたので、精度の高い議案に意見や質問をしなければならないことに大きなプレッシャーを感じながら行わせていただいたことがとても印象に残っております。また、私が配属された小委員会の北島副委員長はより多くの議案に目を向け、コンプライアンスチェックこなされておりましたので、日本JCのスタッフの凄さにとっても驚きと感動をいたしました。さらに、それを取りまとめていた木村議長は、本当に大変な役をこなされておりましたので、同じ茅ヶ崎JCとして大変誇りに思っております。

自身としてはこの貴重な経験をLOMに持ち帰ることで、少しでも組織やメンバーに還元できるよう伝播をし、LOMのさらなる発展に寄与できるように次年度以降の活動を邁進していきたいと感じております。

出向はいつも新しい出会いと経験や学びを提供してくれます。もしまだ出向をされたことのないメンバーには是非この機会を掴み取っていただきたいと思います。

委 員 内 田 浩太郎

私は2024年度日本青年会議所規則審査会議に委員として出向させていただきました。出向のお話をいただいた際は入会から半年程度の時期でLOMのことも正直よくわからない状況でしたが、木村先輩が議長を務めていらしかったこと、規則審査会議の所管事項が日本青年会議所の各委員会及び各会議のコンプライアンス審査を行うことにあり、私の本業である弁護士業とも親和性のある会議体であったことなどから少しでもお役に立てればと思ってお受け致しました。規則審査会議のコンプライアンス審査を通じて日本青年会議所のガバナンス面を学ぶとともに、俯瞰的な視点で日本青年会議所の事業に関わることができました。また、青年会議所の組織構造上、関係性の希薄なLOMのメンバーとも交流を深める大変貴重な機会となりました。他方、妻の第二子の妊娠出産に伴い、年度途中から会議への参加が難しくなったため、一年間を通して出向

者としての役割を全うすることができず、ご迷惑をおかけしてしまった点が残念でした。

本年度も昨年度に引き続き出向の機会をいただき、日本青年会議所スポーツの力委員会の委員として出向させていただいておりますので、スケールの大きな事業を通じて、LOMに還元できるような経験やスキルを得たいと考えております。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会 かながわの未来共育委員会 出向者報告

委 員 松 本 一 人

本年度、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会の神奈川の未来教育委員会の委員として出向させていただきました。当初の予定では、いろんな方と出会い仲間をたくさん増やそう。と意気込んでおりました。しかしながら、思うように時間が作れず、参加することができませんでした。神奈川の未来教育委員会の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。本年度、納得のいく成果を上げられなかった悔しさをバネに、来年度に挑ませていただこうと思います。最後にこのような機会を与えてくださった紀伊理事長をはじめとするメンバーの皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

委 員 大津賀 康 平

本年度、かながわの未来共育委員会に委員として出向し、JC最後の年に県内の仲間と共に活動する機会を得ました。委員会には茅ヶ崎JCから副委員長として美澤一憲君が出向しており、彼を中心に事業を形にしていこう姿を見て、自分が入会当初から学んできた「次の世代へつなぐ」というJCの意義を改めて感じる一年となりました。

正直なところ、委員会の活動に思うように参加できないことも多く、仲間に助けてもらう場面が多かったのが実情です。もっと関わっていれば、より多くの学びや経験を得られたのではないかという心残りもあります。しかし、その中でも関わった事業では、未来を担う子どもたちに何を伝えるべきかを真剣に考え、委員会メンバーと意見を交わした時間は、短いながらも貴重な経験となりました。活動の大小に関わらず、どんな役割でも意義を持って関わるのがJCの良さだと、最後の年に改めて実感しました。

副委員長として委員会を支えた美澤君をはじめ、共に活動した委員会メンバーと出向という機会をくださった紀伊理事長に感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会 かながわネットワーク推進会議 出向者報告

副議長 川 越 龍之介

私は2024年度に神奈川ブロック協議会かながわネットワーク推進会議に出向いたしました。出向に至る経緯ですが、羽場専務理事より「JC内での人脈を広げる良いチャンス」そして、「副議長として出向し川越君の得た経験をLOMで発揮してほしい」と、ありがたいお言葉と貴重な機会をいただきました。そもそも私は2024年度に初めて理事構成メンバーとなり、出向どころかLOMのことも当時勉強不足でしたのでとても不安な思いで出向したのを今でも鮮明に覚えております。そして、いざ始めるとVCの方々は各LOMの副理事長クラス、委員は全て専務理事と、自分がここに出向したのは場違いなのではないかと何度も感じました。しかし、神園議長をはじめ、VCの方々と委員会やブロック大会を通じて交流すると皆様のJCへの熱意やメンバーへの優しさを感じ、自分ももっと前向きに参加して感謝の気持ちを少しでも行動で示して恩返ししたいなと思い始めました。

ここからは私のJCの考えが変わった出来事をお話します。10月にかながわカレッジスクールを当会で設けました。丁度その日は、とても大切な友人の結婚式に出席するために都内に行く予定でした。もちろん本来であれば大切な友人なので結婚式の二次会にも参加したいと考えておりましたが、カレッジスクールの会場が箱根ということもあり、設営の準備に人員が必要でしたので友人には事前に事情を説明し、披露宴のあと急いで新幹線に乗って箱根に向かいました。何が言いたいかといいますと、この日を境に私の中のJCへの気持ちが変わったのだと思います。忙しい中設営を頑張ってくれている仲間を思う気持ちが私の気持ちを変えてくれたのだと思いました。

今回初めて「出向」に挑戦しましたが、羽場専務理事が私に伝えたかったことは仲間を思う気持ちなのではないかと1年かけてようやく気付きました。限られた時間の中で活動することはとても大変なことですが、新たな自分探しの手段のひとつとして「出向」という選択は私の今後の人生にとって有意義な経験になったのではないかと感じると同時に、この経験をLOMに伝えることが大切なことだと感じております。この度は大変貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。

小幹事 山 田 裕 介

2024年度は神奈川ブロック協議会のかながわネットワーク推進会議に小幹事として出向をさせていただきました。茅ヶ崎JCからはVCとして川越龍之介君が出向されており、小幹事として出来る限りのサポートを行いました。

当年度の大きな活動は組織の中核人財を育成する取り組みとして「かながわカレッジスクール」を2度開催いたしました。小幹事としてはあまり事業に深く関わりを持つことができませんでしたが、委員会に参加した際は神園議長を始めとする多くのメンバーが人材育成という観点で活発に議論し、事業を成功させるべく様々な施策を考え実行に移しておりました。その姿はこれぞ青年会議所だと思えることも多く、今後のJC活動において必ず役に立つ経験になったと感じております。

最後になりますが紀伊理事長をはじめと致しますLOMのメンバーの皆様、このような素晴らしい機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

委員 船 津 憲 幸

本年度、LOMの委員長を兼ねながら、神奈川ブロック協議会の一員として出向させていただきました。昨年のネットワーク推進会議の出向報告を見て、「出向を楽しみ、学びの機会とすること」の大切さを改めて感じていましたが、私自身はLOMの活動に注力する中で、出向という機会に十分触れることができなかったのが現実でした。

そんな私が2025年度、神奈川ブロック協議会の委員長として出向することになり、これまでとは全く違う立場でこの機会に向き合うこととなりました。LOMの運営と並行しながら、より広い視野を持ち、神奈川全体の発展を考える立場となることの責任とやりがいを実感しています。昨年までは「出向とは何か」を理解する側でしたが、今年は「出向の意義を伝え、機会を提供する側」としての立場になります。

この貴重な機会を与えてくださった2024年度理事長紀伊智裕君には、心から感謝しています。理事長として組織を牽引しながら、メンバー一人ひとりに成長の場を提供する姿勢には、本当に多くの学びを得ました。私自身も、次年度の委員長として、この経験を活かしながらLOMの未来と神奈川ブロック協議会の運動をつなぐ役割を果たしていきたいと思います。

今年度の経験を胸に、次年度はさらに広い視野を持ち、メンバーが出向の魅力を実感できる環境を整えていくことを決意し、出向者報告とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

委員 堀 田 幸 佑

2024年度、神奈川ブロック協議会 神奈川ネットワーク推進会議の委員を務めさせていただきました。初めての出向であり、参加することもあまりできなかったのですが、1月1日の能登半島地震での必要物資の共有や、夏の大雨にて秦野で土砂崩れがあり9月にみん撤去作業の災害ボランティアとして活動をし、神奈川や全国でのネットワークの強さを感じられました。他のLOMの方との繋がりも個人的にあまり持っていない状況でしたが、神園議長は自分のことを把握してくれたこと、他のLOMとの繋がりを持つだけでも今後のJC活動がより良いものになっていくことを感じ出向をする意義を感じました。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった紀伊理事長を始め、LOMのメンバーの皆様、一緒に出向してくれたメンバーの皆様、このような機会を与えてくださりまして本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会 ブロック大会運営委員会 出向者報告

委員 田 中 こ と み

本年度、神奈川ブロック協議会 ブロック大会運営委員会の一員として活動し、JC最後の一年を締めくくる貴重な経験を得ることができました。6年間のJC活動を振り返ると、初めは何も分からず右も左も分からなかった自分が、様々な役を経験し、多くの仲間と共に学び、成長してきたことを実感します。ブロック大会運営委員会では、県内の仲間と共に一つの大きな事業を創り上げるという経験を通じて、改めて「JCの本質は人と人とのつながり」であることを強く感じました。最後のブロック大会を終えた今、JCで過ごした6年間で確かに自分の糧となっていることを実感しています。卒業は一つの節目ですが、ここで学んだこと、築いたつながりはこれからの人生においても大切な財産となるはずです。

この経験を胸に、JCの外の世界でも新たな挑戦を続けていきたいと思います。

最後に、この場を借りて共に活動した仲間に感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

委員 石 川 雄 也

2024年度は神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会の委員として出向させていただきました。本年度はLOM内での初委員長を担った年でもあり、中々思うように活動出来なかったのが後悔でしかありません。毎回グループLINEにて委員会の開催調整やオンライン会議など多数の投稿があったのに中々いい返事ができませんでした。それはLOMの予定や委員長としての議案の作成など全てが時間に追われている1年だったと感じています。本来はそんな中でのスケジュール調整を行って出席することが本当に意味のあることだったのだろうと改めて考えるとそのように感じます。出向者報告会でもよく言われる「行ってみないとわからない」との言葉が本当に刺さる1年でした。

最後になりますが、紀伊理事長をはじめLOMのメンバーの皆さま、出向という機会を活用出来ず申し訳ありませんでした。しかしこの経験すら活かせるように2025年度も精進してまいります。今回、この機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

委員 榎 晴 太 郎

私は、本年度の公益社団法人日本青年会議所神奈川ブロック協議会、ブロック大会運営委員会に出向させていただきましたが、公務により出席が叶いませんでした。お詫び申し上げます。

委員 萩 原 太 郎

私は、本年度の公益社団法人関東地区神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会に委員として出向させていただきました。

出向は初めてで、LOMでは体験できない経験をと送り出していただきましたが、実際に参加をすること

2024年度会計決算報告書

が出来ませんでした。入会して、2年目での出向機会ではございましたが、まず一回でも参加を試みるという自身の挑戦力に欠けていたのだと感じております。今後、自身としては今後出向という機会を得ることがありましたら、一回でも参加をすることで、自分と同じように出向したが行ったことがない人に向けて、行くことのメリットをメンバーへ伝えより出向への LOM としての意欲向上を出来たらと感じております。

委員 伊藤 祐 貴

2023年度は神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会に委員として出向をさせていただきました。青年会議所に入会1年目ということもあり出向というものの自体を理解するのに少し時間がかかりました。LOMの中での役割などで手一杯になってしまい積極的に参加できたわけではありませんでした。しかし、集大成であるブロック大会の運営や設営に携わることができLOMでは出来ない規模の事業を行うことの大変さや達成感など直に感じることでできるととても良い経験になりました。

LOMの外の方々と繋がりを持てる、各種大会で顔馴染みができ互いに成長出来る素晴らしい体験をさせていただきありがとうございました。

貸借対照表

2024年12月31日現在		(単位：円)	
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	224,753	551,310	△ 326,557
普通預金	2,546,571	2,543,897	2,674
立替金	82,665	82,665	0
流動資産合計	2,853,989	3,177,872	△ 323,883
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761	584,761	0
60周年事業積立資産（定期預金）	400,000	400,000	0
特定資産 計	984,761	984,761	0
(2) その他固定資産			
定期預金	3,019,040	3,019,040	0
JCルーム保証金	936,000	936,000	0
電話加入権	144,000	144,000	0
その他固定資産 計	4,099,040	4,099,040	0
固定資産合計	5,083,801	5,083,801	0
資産合計	7,937,790	8,261,673	△ 323,883
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	0	56,400	△ 56,400
流動負債 計	0	56,400	△ 56,400
2. 固定負債			
負債合計	0	0	0
負債合計	0	56,400	△ 56,400
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	5,083,801	5,083,801	0
(うち基本財産への充当額)	4,099,040	4,099,040	0
(うち特定資産への充当額)	984,761	984,761	0
指定正味財産合計	5,083,801	5,083,801	0
2. 一般正味財産	2,853,989	3,121,472	△ 267,483
(うち基本財産への充当額)	753,989	1,021,472	△ 267,483
(うち特定資産への充当額)	2,100,000	2,100,000	0
一般正味財産合計	2,853,989	3,121,472	△ 267,483
負債及び正味財産合計	7,937,790	8,261,673	△ 323,883

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	(300,000)	(240,000)	(60,000)	
受取新入会員入会金	300,000	240,000	60,000	
受取会費	(5,332,000)	(6,147,600)	(△ 815,600)	
受取正会員会費	3,948,000	4,574,200	△ 626,200	
受取新入会員会費	752,000	592,200	159,800	
受取特別会員会費	282,000	451,200	△ 169,200	
受取休会者会費	0	0	0	
受取賛助会員会費	350,000	530,000	△ 180,000	
事業収入	(0)	(0)	(0)	
事業収入	0	0	0	
登録料収入	0	0	0	
受取寄付金	(0)	(115,000)	△ 115,000	
受取寄付金(協賛金含む)	0	115,000	△ 115,000	
雑収入	(37,007)	(45,429)	(△ 8,422)	
受取利息	400	131	269	
雑収入	36,607	45,298	△ 8,691	
例会事業会計差額	0	0	0	
前期繰越金	(1,021,476)	(888,601)	132,875	
前期繰越金	1,021,476	888,601	132,875	
経常収益計	6,690,483	7,436,630	△ 746,147	
(2) 経常費用				
事業費	(4,077,670)	(5,131,779)	(△ 1,054,109)	
事業費負担金	(1,027,822)	(973,611)	(54,211)	
JCI会費	165,947	84,162	81,785	
日本JC会費	247,500	308,264	△ 60,764	
国際協力資金	82,125	71,175	10,950	
We Believe 購読料	123,250	117,000	6,250	
関東地区協議会負担金	0	49,000	△ 49,000	
神奈川ブロック協議会負担金	271,000	244,000	27,000	
湘南4LOM負担金	100,000	72,010	27,990	
諸会費	38,000	28,000	10,000	
委員会事業費	(1,031,937)	(2,040,127)	(△ 1,008,190)	
総務広報委員会	237,500	191,500	46,000	
55周年委員会	0	1,231,392	△ 1,231,392	
拡大広報委員会	0	120,000	△ 120,000	
社会開発委員会	0	497,235	△ 497,235	
LOVE&PRIDE醸成委員会	677,426	0	677,426	
拡大交流委員会	117,011	0	117,011	
公式行事登録料	(266,000)	(68,000)	(198,000)	
日本JC出向者負担	100,000	60,000	40,000	
京都会議	28,000	8,000	20,000	
京都会議ブロックナイト	0	0	0	
ブロック全体会議	0	0	0	
ASPAC	0	0	0	

	当年度	前年度	増減	備考
関東地区大会	0	0	0	
サマーコンファレンス	0	0	0	
ブロック大会	0	0	0	
全国大会	0	0	0	
J C I 世界会議	138,000	0	138,000	
ありがとう関東地区	0	0	0	
ありがとうブロック	0	0	0	
例会活動費	(801,596)	(1,121,911)	(△ 320,315)	
会場費	120,648	379,270	△ 258,622	
通信費	159,130	189,988	△ 30,858	
印刷製本代	344,666	400,530	△ 55,864	
消耗品費	65,676	64,123	1,553	
広告費	111,476	88,000	23,476	
会議費	(224,200)	(237,920)	(△ 13,720)	
理事会費	224,200	237,920	△ 13,720	
渉外費	(726,115)	(690,210)	(35,905)	
渉外費1	293,000	246,000	47,000	
渉外費2	318,115	311,210	6,905	
慶弔費	115,000	133,000	△ 18,000	
管理費	(1,858,820)	(2,203,375)	(△ 344,555)	
管理費負担金	(126,000)	(126,000)	(0)	
茅ヶ崎商工会議所会費	126,000	126,000	0	
事務局費	(1,732,820)	(2,077,375)	(△ 344,555)	
給料手当	720,664	825,211	△ 104,547	
法定福利費	9,136	8,955	181	
事務局用品費	42,497	80,632	△ 38,135	
通信費	72,586	97,259	△ 24,673	
水道光熱費	9,435	13,007	△ 3,572	
地代家賃	776,480	876,480	△ 100,000	
雑費	45,286	95,823	△ 50,537	
新入会員諸費用	56,736	80,008	△ 23,272	
経常費用計	5,936,490	7,335,154	△ 1,398,664	
当期経常増減額	753,993	101,476	652,517	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	5,083,801	0	5,083,801	
当期経常外増減額	△ 5,083,801	0	△ 5,083,801	
当期一般正味財産増減額	△ 267,483	76,471	△ 343,954	
一般正味財産期首残高	3,121,472	3,045,001	76,471	
一般正味財産期末残高	2,853,989	3,121,472	△ 267,483	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	△ 919,994	919,994	
指定正味財産期首残高	5,083,801	6,003,795	△ 919,994	
指定正味財産期末残高	5,083,801	5,083,801	0	
III 正味財産期末残高	7,937,790	8,205,273	△ 267,483	

貸借対照表内訳表

(単位：円)

2024年12月31日現在

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産			224,753		224,753
現金			2,546,791		2,546,571
普通預金			82,665		82,665
立替金					
流動資産合計	0	0	2,854,209	0	2,853,989
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761				584,761
60周年事業積立資産（定期預金）			400,000		400,000
特定資産 計	584,761	0	400,000	0	984,761
(2) その他固定資産					
定期預金			3,019,040		3,019,040
JCルーム保証金			936,000		936,000
電話加入権			144,000		144,000
その他固定資産 計	0	0	4,099,040	0	4,099,040
固定資産合計	584,761	0	4,499,040	0	5,083,801
資産合計	584,761	0	7,353,249	0	7,937,790
II 負債の部					
1. 流動負債					
仮受金			0		0
流動負債 計	0	0	0	0	0
2. 固定負債					
負債合計	0	0	0	0	0
正味財産の部					
1. 指定正味財産	984,761		4,099,040		5,083,801
(うち基本財産への充当額)	984,761		4,099,040		4,099,040
(うち特定資産への充当額)	984,761	0		0	984,761
指定正味財産合計			4,099,040		5,083,801
2. 一般正味財産			2,853,989		2,853,989
(うち基本財産への充当額)			753,989		753,989
(うち特定資産への充当額)			2,100,000		2,100,000
一般正味財産合計	0	0	2,853,989	0	2,853,989
負債及び正味財産合計	984,761	0	6,953,029	0	7,937,790

正味財産増減計算書内訳表

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

科目	公1 まちへの誇りと 愛を育む事業	公2 おもいやり の精神を育む事業	公益目的事業会計 公3 青少年 育成事業	公4 まちづくり 事業	共通	小計	収益事業等会計 共通	小計	法人会計	内部 取引	合計
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取入金	0	0	0	0	169,070	169,070	32,163	0	98,767	0	300,000
受取入金 計	0	0	0	0	169,070	169,070	32,163	0	98,767	0	300,000
受取会費	0	0	0	0	2,224,961	2,224,961	423,259	0	1,299,780	0	3,948,000
受取正会員会費	0	0	0	0	423,802	423,802	80,621	0	247,577	0	752,000
受取新入会員会費	0	0	0	0	158,926	158,926	30,233	0	92,841	0	282,000
受取特別会員会費	0	0	0	0	197,248	197,248	37,523	0	115,229	0	350,000
受取賛助会員会費	0	0	0	0	3,004,937	3,004,937	571,636	0	1,755,427	0	5,332,000
受取会費 計	0	0	0	0	3,004,937	3,004,937	571,636	0	1,755,427	0	5,332,000
事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	0	0	0	0	575,670	575,670	109,511	0	336,295	0	1,021,476
繰入金収入 計	0	0	0	0	575,670	575,670	109,511	0	336,295	0	1,021,476
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	400	0	400
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	36,607	0	36,607
雑収入 計	0	0	0	0	0	0	0	0	37,007	0	37,007
例年事業会計差額	0	0	0	0	3,174,007	3,174,007	603,799	0	1,891,201	0	6,690,483
雑収入 計											
経常収益合計	0	0	0	1,776,625	0	1,776,625	281,108	0	2,019,937	0	4,077,670
(2) 経常費用											
事業費用	0	0	0	0	0	0	0	0	165,947	0	165,947
事業費負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	247,500	0	247,500
JCI会費	0	0	0	0	0	0	0	0	82,125	0	82,125
日本JIC会費	0	0	0	0	0	0	0	0	123,250	0	123,250
国際協力資金	0	0	0	0	0	0	0	0	271,000	0	271,000
We Believe	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
関東地区協議会負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	38,000	0	38,000
神奈川Jロック協議会負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,027,822	0	1,027,822
湘南4LOM負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費負担金 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委員会事業費	0	0	0	237,500	0	237,500	0	0	0	0	237,500
総務広報委員会	0	0	0	677,426	0	677,426	0	0	0	0	677,426
LOVE&PRIDE醸成委員会	0	0	0	20,020	0	20,020	96,991	0	96,991	0	117,011
拡大交流委員会	0	0	0	934,946	0	934,946	96,991	0	96,991	0	1,031,937
委員会事業費 計											
公式行事登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
日本JCI出向者負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	28,000	0	28,000
京都会議登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アロック全体会議登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ASPAC登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東地区大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ア-コンファランス登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アロック大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計			内部取引	合計
	公1 まへの餅りと 愛育を育む事業	公2 おもいやりの 精神を育む事業	公3 青少年 育成事業	公4 まちづくり 事業	共通	小計	共益事業	共通	小計	
JCI世界会議登録料 ありがとう関東地区登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,000
ありがとうア・ロング登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公式行事登録料 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	266,000
例会活動費										
会場費	0	0	0	98,993	0	98,993	21,655	0	21,655	0
通信費	0	0	0	130,568	0	130,568	28,562	0	28,562	0
印刷製本代	0	0	0	282,803	0	282,803	61,863	0	61,863	0
消耗品費	0	0	0	53,888	0	53,888	11,788	0	11,788	0
広報費	0	0	0	91,467	0	91,467	20,009	0	20,009	0
例会活動費 計	0	0	0	657,720	0	657,720	143,876	0	143,876	0
会議費										
理事会費	0	0	0	183,959	0	183,959	40,241	0	40,241	0
会議費 計	0	0	0	183,959	0	183,959	40,241	0	40,241	0
渉外費										
渉外費 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	293,000
渉外費 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318,115
郵便費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,000
寄付金支払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	726,115
管理費										
管理費負担金	0	0	0	1,993,909	0	1,993,909	436,168	0	436,168	0
茅ヶ崎商工会議所会費										
管理費負担金 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,000
事務局費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,000
給与										
法定福利費	0	0	0	591,314	0	591,314	129,350	0	129,350	0
事務局用品費	0	0	0	7,496	0	7,496	1,640	0	1,640	0
通信費	0	0	0	34,869	0	34,869	7,628	0	7,628	0
水道光熱費	0	0	0	59,558	0	59,558	13,028	0	13,028	0
地代家賃	0	0	0	7,742	0	7,742	1,693	0	1,693	0
雑費	0	0	0	637,112	0	637,112	139,368	0	139,368	0
新人会員諸費用	0	0	0	37,158	0	37,158	8,128	0	8,128	0
事務局費 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,736
予備費	0	0	0	1,375,248	0	1,375,248	300,836	0	300,836	0
経常費用合計	0	0	0	618,661	0	618,661	135,332	0	135,332	0
経常増減額	0	0	0	3,770,534	0	3,770,534	717,276	0	717,276	0
2. (1) 経常外収益										
(2) 経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 267,483
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,121,472
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,853,989
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,099,040
正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,083,801

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
- 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記 4「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び注記 5「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略いたします。

2. 引当金の明細
- 該当ありません。

財 産 目 録

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位：円)	
(流動資産)	現金	手元保管		金	額
	普通預金 立替金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 1口座	口座番号0121634 備品代として		224,753 2,546,571 82,665
流動資産合計					2,853,989
(固定資産)	定期預金	湘南信用金庫 (口座番号2141111)	公益目的事業積立資産として 60周年事業積立資産として		
	定期預金	湘南信用金庫 (口座番号2141130)			584,761 400,000
その他の固定資産	定期預金 JICルーム保証金 電話加入権	湘南信用金庫 (口座番号2141120)	積み立て資産として 事務局保証金 事務局電話加入権		
					3,019,040 936,000 144,000
固定資産合計					5,083,801
資産合計					7,937,790
(流動負債)	該当事項なし				0
流動負債合計					0
負債合計					0
正味財産合計					7,937,790

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記
継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在していません。
2. 重要な会計方針
(1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込処理によっております。
(2) リース取引の処理方法
ファイナンス・リース取引によるリース資産については、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引等少額のリース資産や、リース期間が1年以内のリース取引を除き、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
3. 会計方針の変更
(1) 採用する会計基準の変更
該当年度より、「公益法人会計基準」（最終改正令和2年5月15日 内閣府公益認定当委員会）を採用しています。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産				
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761	0	0	584,761
60周年事業積立資産（定期預金）	400,000	0	0	400,000
合計	984,761	0	0	984,761

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
特定資産				
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761	984,761	0	0
60周年事業積立資産（定期預金）	400,000	0	0	0
合計	984,761	984,761	0	0

6. 担保に供している財産
該当ありません。
7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当ありません。
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当ありません。
9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く）等の偶発債務
該当ありません。
10. 満期保有の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当ありません。
11. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高
該当ありません。
12. 基金及び代替基金の増減及びその残高
該当ありません。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当ありません。
14. 関連当事者との取引の内容
該当ありません。
15. 重要な後発事象
該当ありません。
16. リース取引関係
該当ありません。
17. その他
当法人は、神奈川県より平成23年12月12日付（神奈川県指令商企第48号）を以って公益社団法人として認定を受け、平成23年12月16日より公益社団法人茅ヶ崎青年会議所に移行しております。

監査報告書

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所

理事長 金子 遥 殿

令和7年1月10日

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所

監事 羽場 大祐

監事 相原 豊

私たち監事は、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法及びにその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整理を努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従って、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上